

学会発表

Titles of Speeches at Scientific Meetings etc.

合田幸広：パネルディスカッション「製薬企業でのqNMRの利用方法について」。

第2回日本定量NMR研究会年会 (2020.12.4)

Honma M: Regulatory Science and Emerging Technology in Japan.

Global Summit Regulatory Science 2020 (2020.9.28)

Honma M: Assessment and Control of Mutagenic Impurities in Pharmaceuticals.

The 5th International Webinar Conference on Pharmaceutical Quality Regulatory Sciences (2020.11.20)

本間正充：医薬品中に存在する変異原性不純物の評価と管理手法の最新動向。

第22回インターフェックスジャパンセミナー (2020.11.25)

本間正充：生活環境で極低レベルで摂取する遺伝毒性発がん物質の安全性評価と管理。

日本環境変異原学会第49回大会基調講演 (2020.11.27)

本間正充：ICH-M7ガイドラインの基本的事項，Q&Aの解説及び最近のトピック。

令和2年度関西医薬品協会技術研究委員会研修講演会 (2020.12.9)

伊豆津健一，白井明子，阿部康弘，吉田寛幸：凍結溶液と凍結乾燥におけるタンパク質と高分子添加剤の相分離－低分子量ゼラチンを用いた検討。

日本薬剤学会第35年会 (2020.5.16)

阿部康弘，白井明子，吉田寛幸，伊豆津健一：テープ剤の無包装状態での経日的な薬物透過率低下に関する検討。

日本薬剤学会第35年会 (2020.5.14)

阿部康弘，白井明子，吉田寛幸，伊豆津健一：無包装状態で保管した外用テープ剤の*in vitro*薬物透過性評価。

第30回日本医療薬学会年会 (2020.9.20)

吉田寛幸，阿部康弘，富田奈緒美，栗田麻里，伊豆津健一：ジェネリック医薬品品質情報検討会による後発医薬品の品質試験－血圧降下剤等の溶出性評価－。

第53回日本薬剤師会学術大会 (2020.10.10)

Abe Y, Yamamoto E, Yoshida H, Masada S, Yokoo H, Tsuji G, Uchiyama N, Hakamatsuka T, Demizu Y, Izutsu K, Goda Y, Okuda H: Temperature-dependent formation of *N*-nitrosodimethylamine (NDMA) during the storage of ranitidine reagent powders and tablets. AAPS PharmSci360 (2020.10.26)

吉田寛幸，阿部康弘，富田奈緒美，伊豆津健一：クラリスロマイシンドライシロップ製剤のボトル内における有効成分の偏析。

第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

阿部康弘，吉田寛幸，白井明子，山本栄一，伊豆津健一：GC-MSを用いたメトホルミン製剤中のN-ニトロソジメチルアミン (NDMA) の分析。

第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

吉田寛幸：消化管内環境を考慮した溶出試験液について。創剤研究コンソーシアム「GIS技術講習会」(2020.12.22)

吉田寛幸，阿部康弘，白井明子，伊豆津健一：新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者を想定したシクレソニド吸入剤におけるスプレーの使用に関する検討。

日本薬学会第141年会 (2021.03.27)

村瀬さくら^{*1}，井上雅己^{*1}，阿部康弘，伊勢知子^{*2}，永田諭志^{*2}，角田慎一^{*1}：免疫治療薬を目指したヒトBAFFRモノクローナル抗体の創製と機能解析。

日本薬学会第141年会 (2021.03.27)

^{*1} 神戸学院大薬

^{*2} 医薬健栄研

宮崎玉樹，武田佳彦^{*}，菅野仁美，山本栄一，伊豆津健一，合田幸広：薬物放出に伴う貼付剤中の薬物結晶サイズ変化のX線CTによる観察。

日本薬剤学会第35年会 (2020.5.16)

^{*} (株) リガク

安藤大介，山本栄一，近藤昌夫^{*}，岡田直貴^{*}，伊豆津健一：マイクロニードルアレイ製剤の開発における品質評価項目と課題の調査。

日本薬剤学会第35年会 (2020.5.16)

^{*} 大阪大学大学院薬学研究科

宮崎玉樹, 菅野仁美, 山本栄一, 伊豆津健一: 開封保存したケトプロフェンテープの粘着性に及ぼす温湿度の影響.

第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

安藤大介, 山本栄一, 伊豆津健一: 溶解型マイクロニードル製剤の品質評価の現状と課題.

第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

山本栄一, 菅野仁美, 安藤大介, 宮崎玉樹, 阿部康弘, 吉田寛幸, 伊豆津健一: LC-MS/MSによるラニチジン原薬及び製剤中のN-ニトロソジメチルアミン (NDMA) の定量法

第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

菅野仁美, 安藤大介, 宮崎玉樹, 山本栄一, 伊豆津健一: 流通する医薬品32品目444製剤の定量によって明らかになった課題

第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

Daisuke A, Eiichi Y, Kenji K*, Ying-Shu Q*, Fumio K*, Tamaki M, Ken-ichi I: Raman spectroscopy enables chemical imaging of active pharmaceutical ingredient in dissolving polymeric sheet.

The 6th International Conference on Microneedles (2020.11.10)

* CosMED Pharmaceutical Co. Ltd

宮崎玉樹, 菅野仁美, 安藤大介, 山本栄一, 伊豆津健一: 欧州および米国薬局方における医薬品添加剤の機能性関連特性の収載状況.

日本薬学会第141年会 (2021.3.28)

坂本知昭, 阿波君枝^{*1}, 大島大樹^{*2}, 小野多佳子^{*3}, 佐々木健次^{*2}, 佐藤匠^{*4}, 長田優希^{*5}, 土肥優史^{*6}, 中西敏和^{*4}, 野崎祐介^{*6}, 前田滯^{*4}, 松本成永^{*2}, 山本貢史^{*1}: 先端的工程分析技術を承認試験法として導入する際の技術的要件の標準化に関する研究 その1 ラマンスペクトル測定法を用いた確認試験の設定アプローチの一例.

日本薬剤学会第35年会 (2020.5.14)

^{*1} 大日本住友製薬株式会社

^{*2} 田辺三菱製薬株式会社

^{*3} 武田薬品工業株式会社

^{*4} 塩野義製薬株式会社

^{*5} シオノギファーマ株式会社

^{*6} アステラス製薬株式会社

志村啓*, 愛甲健二*, 茂原瑞希*, 坂本知昭: テラヘルツ吸光分光を用いた市販医薬品 (錠剤) の識別性評価. 日本薬剤学会第35年会 (2020.5.14)

* 株式会社日立ハイテク

藤井ありあ*, 小出達夫, 深水啓朗*: ラマン分光法を用いたコアモルファスの定量に関する研究.

日本薬剤学会第34年会 (2020.5.16)

* 明治薬科大学

羽石一輝*, 藤井美佳*, 久田浩史*, 小出達夫, 深水啓朗*: ラマン分光法を用いたリポソームの相転移モニタリング.

日本薬剤学会第34年会 (2020.5.16)

* 明治薬科大学

船戸恵子^{*1}, 五十嵐柳子^{*2}, 白井功二^{*3}, 岡崎公哉^{*1}, 奥平真一^{*4}, 小島孝夫^{*5}, 坂本知昭, 柴田寛子, 鈴木幹雄^{*6}, 古木健一朗^{*2}, 石井明子: 本邦におけるICH Q12ガイドラインの円滑な運用に向けた承認後変更管理実施計画書 (PACMP) モック作成の取り組み.

第10回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2020.9.12)

^{*1} グラクソ・スミスクライン株式会社

^{*2} MSD株式会社

^{*3} ファイザー株式会社

^{*4} 医薬品医療機器総合機構

^{*5} アッヴィ合同会社

^{*6} 中外製薬株式会社

山本佳久^{*1}, 鈴木佳奈子^{*1}, 深水啓朗^{*2}, 小出達夫: 近赤外分光法を用いた酸化マグネシウム錠の品質評価.

第30回日本医療薬学会年会 (2020.10.24)

^{*1} 帝京平成大学

^{*2} 明治薬科大学

Mohara M*, Shimura K*, Aiko K*, Sakamoto T, Ono T*: Classification of commercially available ofloxacin tablets using frequency-domain terahertz spectroscopy and discriminant analysis.

AAPS 2020 PharmSci360 (2020.10.26)

* Hitachi High-Tech

Shimura K*, Mohara M*, Aiko K*, Sakamoto T, Ono T*: Discrimination of ofloxacin formulation tablets using frequency-domain terahertz spectrometer.

The Federation of Analytical Chemistry and Spectroscopy Societies (FACSS) and the SciX Conference (FACSS-SciX2020) (2020.10.12)

* Hitachi High-Tech

Horita K*, Akiyama K*, Sakamoto T, Takahashi K*, Satozono H*: Terahertz Time-domain Attenuated Total Reflection Spectroscopy Using Flow-through Method for Continuous Analysis of Dehydration Process.

International Conference on Infrared, Millimeter and Terahertz Waves (IRMMW-THz 2020) (2020.11.9)

* Hamamatsu Photonics KK

Sasaki T^{*1}, Sakamoto T, Otsuka M^{*2}: Absorption peak shape of the lowest vibrational mode of β -form D-mannitol observed by high frequency accuracy terahertz spectroscopy.

The 45th International Conference on Infrared, Millimeter and Terahertz waves (IRMMW-THz 2020) (2020.11.9)

^{*1} Shizuoka University

^{*2} Musashino University

Sakamoto T, Sasaki T*: Vibrational spectroscopic investigation of photocatalytic reaction of titanium dioxide (IV) against a synthetic antibacterial agent using THz and Raman spectroscopy.

The 45th International Conference on Infrared, Millimeter and Terahertz waves (IRMMW-THz 2020) (2020.11.12)

* Shizuoka University

堀田和希*, 秋山高一郎*, 高橋和宏*, 里園浩*, 坂本知昭: フロースルー型テラヘルツ減衰全反射分光による脱水プロセスモニタリング.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

* 浜松ホトニクス株式会社

秋山高一郎*, 堀田和希*, 高橋和宏*, 里園浩*, 坂本知昭: フロリナートを用いたTHz-ATR分光の新しい粉体計測手法.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

* 浜松ホトニクス株式会社

高橋和宏*, 秋山高一郎*, 堀田和希*, 里園浩*, 坂本知昭: テラヘルツ波全反射分光法を用いた水和転移モニタリングの再現性に関する検討.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

* 浜松ホトニクス株式会社

坂本知昭, 佐々木哲朗^{*1}, 知久馬敏幸, 藤巻康人^{*2}: 市場流通医薬品の品質確認のための分光分析 第10報 不正・不良(偽造)が疑われた個人輸入国内未承認薬の品質分析 その2.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

^{*1} 静岡大学

^{*2} 東京都立産業技術研究センター

藤巻康人*, 小金井誠司*, 坂本知昭: フォトルミネッセンスを用いた医薬品評価手法の開発.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

* 東京都立産業技術研究センター

山本佳久^{*1}, 鈴木佳奈子^{*1}, 深水啓朗^{*2}, 小出達夫: 酸化マグネシウム錠の吸湿による品質変化~顕微赤外分光法を用いた評価~.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

^{*1} 帝京平成大学

^{*2} 明治薬科大学

伯遼太郎*, 荒居玖志*, 高山智生*, 小出達夫, 深水啓朗^{*1}: 蛍光指紋を用いた原薬アモルファス状態の評価.

日本薬学会第141年会 (2021.3.28)

* 明治薬科大学

堀江紀匠*, 小出達夫, 深水啓朗*: プローブ型LFラマン分光計を用いた球形晶析過程のモニタリング.
日本薬学会第141年会 (2021.3.28)

* 明治薬科大学

原矢佑樹, 伊豆津健一, 加藤くみ子*: ナノDDS製剤のサイズ・形態および表面特性の評価手法に関する調査研究.

日本薬剤学会第35年会 (2020.5.16)

* 北里大学

扇田隆司^{*1}, 原矢佑樹, 岡田圭祐^{*1}, 松井早希^{*1}, 竹内美紗紀^{*1}, 齋藤千尋^{*2}, 西辻和親^{*3}, 内村健治^{*4}, 川野竜司^{*2}, 長谷川功紀^{*1}, 加藤くみ子^{*5}, 赤路健一^{*1}, 伊豆津健一, 齋藤博幸^{*1}: ポリプロリンIIヘリックス構造によるアルギニンペプチド細胞膜透過促進機構.
膜シンポジウム2020 (2020.11.13)

^{*1} 京都薬科大学

^{*2} 東京農工大学

^{*3} 和歌山県立医科大学

^{*4} (仏) 国立科学研究センター

^{*5} 北里大学

加藤くみ子*, 小坂橋京華*, 原矢佑樹, 伊豆津健一: エクソソームの物理化学的特性を模倣したリポソームの細胞内取り込み効率に寄与する因子.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

* 北里大学

Ishii-Watabe A: Statistical Methods Used for Cut Point Determination in Immunogenicity Assays.

14th Workshop on Recent Issues in Bioanalysis (2020.6.22)

Kiyoshi M, Tada M, Shibata H, Aoyama M, Ishii-Watabe A: Characterization of Aggregated Antibody-Silicone Oil Complexes; From Perspectives of Morphology, 3D Image, and Fcγ Receptor Activation. 20th Annual Meeting of the Protein Science Society of Japan (2020.7.7)

谷垣柊乃介^{*1}, 黄雪丹^{*1}, 尾野颯哉^{*1}, 渡部浩平^{*1}, 日向須美子^{*2}, 竹元裕明^{*1}, 山下忠俊^{*3}, 楊金緯^{*3}, 内山

奈穂子, 日向昌司, 大嶋直浩, 天倉吉章^{*4}, 袴塚高志, 合田幸広, 小田口浩^{*2}, 花輪壽彦^{*2}, 小林義典^{*1}: 麻黄に含まれるエフェドリンアルカロイドの睡眠及び運動機能に対する作用の解析.

第37回和漢医薬学会学術大会 (2020.8.29)

^{*1} 北里大学薬学部

^{*2} 北里大学東洋医学総合研究所

^{*3} (株) 常磐植物化学研究所

^{*4} 松山大学薬学部

南可恵^{*1}, 日向須美子^{*2}, 竹内純^{*1}, 中森俊輔^{*1}, 宮嶋直紀^{*1}, 楊金緯^{*3}, 内山奈穂子, 日向昌司, 大嶋直浩, 天倉吉章^{*4}, 袴塚高志, 合田幸広, 小田口浩^{*2}, 花輪壽彦^{*2}, 小林義典^{*1}: COX-2の酵素活性に対する麻黄エキス, EFE, エフェドリンアルカロイドの阻害作用の解析.

第37回和漢医薬学会学術大会 (2020.8.29)

^{*1} 北里大学薬学部

^{*2} 北里大学東洋医学総合研究所

^{*3} (株) 常磐植物化学研究所

^{*4} 松山大学薬学部

石井明子: 中分子ペプチド医薬品の品質確保における留意点.

第10回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2020.9.11)

小林哲, 柴田寛子, 石井明子: エタネルセプトバイオシミラーの先行品との切り替え試験による同等性/同質性評価に関する国際動向.

第10回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2020.9.12)

西村和子, 柴田寛子, 齋藤嘉朗, 石井明子: 新型コロナウイルス抗体検査に関する国際的動向と規制科学的課題.

第10回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2020.9.12)

船戸恵子^{*1}, 五十嵐柳子^{*2}, 臼井功二^{*3}, 岡崎公哉^{*1}, 奥平真一^{*4}, 小島孝夫^{*5}, 坂本知昭, 柴田寛子, 鈴木幹雄^{*6}, 古木健一朗^{*2}, 石井明子: 本邦におけるICH Q12ガイドラインの円滑な運用に向けた承認後変更管理実施計画書 (PACMP) モック作成の取り組み.

第10回レギュラトリーサイエンス学会学術大会

(2020.9.12)

*¹ グラクソ・スミスクライン (株)*² MSD (株)*³ ファイザー (株)*⁴ (独) 医薬品医療機器総合機構*⁵ (同) アツヴィ*⁶ 中外製薬 (株)

木吉真人, 多田稔, 柴田寛子, 青山道彦, 石井明子: プレフィルドシリンジ製剤の品質確保のための抗体医薬品凝集体-シリコンオイル複合体の特性解析.

第10回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2020.9.12)

石井明子: 多機能バイオリジクスの開発推進に向けたレギュラトリーサイエンスに関する現状と今後の展望.

第93回日本生化学会大会 (2020.9.15)

石井明子: バイオ医薬品の免疫原性評価に関するレギュラトリーサイエンス-抗薬物抗体評価法を中心に-

第60回日本臨床化学会年次学術集会 (2020.10.30)

Shibata H, Kiyoshi M, Harazono A, Ishii-watabe A: Issues on quality control of biopharmaceuticals from regulatory perspective.

Japan Association for Animal Cell Technology 2020 (2020.11.19)

柴田寛子, 西村和子, 宮間ちづる, 斎藤嘉朗, 石井明子: 新型コロナウイルス抗体検査キットの分析性能評価と規制科学的課題.

第41回日本臨床薬理学会学術総会 (2020.12.5)

石井明子, 柴田寛子, 西村和子, 斎藤嘉朗: バイオ医薬品の免疫原性評価における規制科学的な留意事項に関する研究.

第41回日本臨床薬理学会学術総会 (2020.12.5)

石井明子, 柴田寛子, 原園景, 日向昌司, 檜山行雄: バイオ医薬品の規格及び試験方法に用いられる分析法の開発と変更管理における Analytical Quality by Designアプローチの活用.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

柴田寛子, 西村和子, 宮間ちづる, 斎藤嘉朗, 石井明子: 抗SARS-CoV-2モノクローナル抗体を使った新型コロナ

ウイルス抗体検査キットの分析性能評価.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

西村和子, 柴田寛子, 斎藤嘉朗, 石井明子: 新型コロナウイルス抗体検査キットの性能評価と標準品策定に関する海外動向.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

小林哲, 柴田寛子, 石井明子: リツキシマブバイオシミラーの先行品との切り替え試験による有効性・安全性評価に関する国際動向.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

原園景, 柴田寛子, 石井明子: 超塩基を用いた非還元的β-脱離法によるエタネルセプト先行品及び後続品のO-結合型糖鎖プロファイルの比較.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

日向昌司, 多田稔, 石井明子: ELISAを用いた宿主細胞由来タンパク質 (HCP) の定量における留意点.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

伊藤詩乃^{*1}, 谷垣柊乃介^{*1}, 黄雪丹^{*1}, 日向須美子^{*2}, 内山奈穂子, 日向昌司, 大嶋直浩, 天倉吉章^{*3}, 袴塚高志, 合田幸広, 小田口浩^{*2}, 花輪壽彦, 小林義典^{*1}: 麻黄エキス及びエフェドリンアルカロイドにより誘導される自発運動量低下の作用機序の解明.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

*¹ 北里大学薬学部

*² 北里大学東洋医学総合研究所

*³ 松山大学薬学部

中森俊輔^{*1}, 竹内純^{*1}, 日向須美子^{*2}, 内山奈穂子, 辻本恭^{*1}, 宮嶋直紀^{*1}, 楊金緯^{*3}, 日向昌司, 大嶋直浩, 天倉吉章^{*4}, 袴塚高志, 合田幸広, 小田口浩^{*2}, 花輪壽彦^{*2}, 小林義典^{*1}: EFE配合漢方薬の品質評価を目的とした指標成分の検討.

日本薬学会第141年会 (2021.3.28)

*¹ 北里大学薬学部

*² 北里大学東洋医学総合研究所

*³ (株) 常磐植物化学研究所

*⁴ 松山大学薬学部

竹内純^{*1}, 中森俊輔^{*1}, 日向須美子^{*2}, 宮嶋直紀^{*1}, 楊金緯^{*3}, 内山奈穂子, 日向昌司, 大嶋直浩, 天倉吉章^{*4},

袴塚高志, 合田幸広, 小田口浩^{*2}, 花輪壽彦^{*2}, 小林義典^{*1}: EFE配合麻杏薏甘湯去麻黄エキスの鎮痛作用の解析.

日本薬学会第141年会 (2021.3.28)

^{*1} 北里大学薬学部

^{*2} 北里大学東洋医学総合研究所

^{*3} (株) 常磐植物化学研究所

^{*4} 松山大学薬学部

橋井則貴, 田尻道子^{*}, 石井明子: Multi-Attribute Methodによる抗体医薬品の品質評価.

日本薬学会第141年会 (2021.3.29)

^{*} 横浜市大

河村麻衣子, 前橋恭子, 岩楯公晴, 袴塚高志, 花尻(木倉)瑠理: 頭髪試料中危険ドラッグのLC-IMS-Q-TOFMSスクリーニング分析.

日本法中毒学会第39年会 (2020.6.5, 誌上発表)

田中理恵, 河村麻衣子, 花尻(木倉)瑠理, 袴塚高志: シート状危険ドラッグ製品中のLSD誘導体の同定と分析.

日本法中毒学会第39年会 (2020.6.5, 誌上発表)

水谷佐久美, 河村麻衣子, 袴塚高志, 花尻(木倉)瑠理: GC/MS, LC/MS及びSFCによるCetilstatの分析法の検討.

日本法中毒学会第39年会 (2020.6.5, 誌上発表)

Pineda Garcia Jorge Carlos^{*1}, 李任時^{*2}, 花尻(木倉)瑠理, 田中嘉孝^{*1}, 石井祐次^{*1}: MDMA-CHMICAが自発運動量と学習記憶に及ぼす影響の検討.

日本法中毒学会第39年会 (2020.6.5, 誌上発表)

^{*1} 九州大学大学院薬学研究院

^{*2} 中国薬科大学

緒方潤, 袴塚高志, 花尻(木倉)瑠理: シロシピン合成系遺伝子を用いたマジックマッシュルーム識別法の検討.

日本法中毒学会第39年会 (2020.6.5, 誌上発表)

末松孝子^{*1}, 内山奈穂子, 細江潤子, 石附京子, 杉本直樹, 小出達夫, 村林美香^{*2}, 小野誠^{*3}, 小林謙吾^{*3}, 藤峰慶徳^{*4}, 横瀬俊幸^{*4}, 大藤克也^{*5}, 清水仁^{*5}, 長谷部

隆^{*6}, 浅井由美^{*6}, 江奈英里^{*6}, 菊池純子^{*7}, 清田浩平^{*7}, 藤田和弘^{*7}, 牧野吉伸^{*8}, 八十歩直子^{*9}, 大原拓郎^{*9}, 岩本芳明^{*10}, 三浦亨^{*10}, 朝倉克夫^{*11}, 小浜亜以^{*12}, 合田幸広: 恒温恒湿下での試料調製における吸湿性試料の定量NMR.

第87回日本分析化学会 有機微量分析研究懇談会 第113回計測自動制御学会 力学量計測部会第37回合同シンポジウム (2020.6.12, 誌上発表)

^{*1} (株) JEOL RESONANCE

^{*2} 武田薬品工業 (株)

^{*3} 第一三共 (株)

^{*4} 大塚製薬 (株)

^{*5} 中外製薬 (株)

^{*6} エーザイ (株)

^{*7} 塩野義製薬 (株)

^{*8} 十全化学 (株)

^{*9} 富士フイルム (株)

^{*10} 富士フイルム和光純薬 (株)

^{*11} 日本電子 (株)

^{*12} (一財) 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団

Batsukh Zolboo^{*1}, 當銘一文^{*1}, Javzan Batkhuu^{*2}, 数馬恒平^{*1}, 林茂樹^{*3}, 渥美聡孝^{*4}, 丸山卓郎, 川原信夫^{*3}: Characterization and quantification of metabolites in Saposchnikovia divaricata roots from Mongolia.

第37回和漢医薬学会学術大会 (2020.8.29, オンライン発表)

^{*1} 富山大学和漢薬学総合研究所

^{*2} モンゴル大学

^{*3} (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

^{*4} 九州保健福祉大学薬学部

斎藤大地^{*1}, 太田育土^{*2}, 脇岡雅宣^{*2}, 北村佳久^{*1,2}, 丸山卓郎, 横山和正^{*1}, 井之上浩一^{*1,2}: 国内カキシメジの遺伝子学的再分類とその成分の分析に関する研究.

日本食品化学学会第26回総会・学術大会 (2020.8.31, 誌上発表)

^{*1} 立命館大学大学院薬学研究科

^{*2} 立命館大学薬学部

田中誠司, 新井玲子, 政田さやか, 内山奈穂子, 袴塚高志: 指定成分であるコレウス・フォルスコリーを含む健

康食品のTLC・HPLCを用いた分析.

日本食品化学学会第26回総会・学術大会 (2020.8.31, 誌上発表)

辻本恭*, 小関良宏*, 袴塚高志, 内山奈穂子: トウゲシバエキス含有健康食品中に含まれるHuperzine Aの分析.

日本食品化学学会第26回総会・学術大会 (2020.8.31, 誌上発表)

* 東京農工大学工学部

政田さやか, 遊佐仁暁, 辻巖一郎, 横尾英知, 細江潤子, 新井玲子, 田中誠司, 出水庸介, 袴塚高志, 合田幸広, 内山奈穂子: プエラリア・ミリフィカ由来kwakhurinの形式全合成と相対モル感度係数を利用したプエラリア・ミリフィカ含有食品中のmiroestrolの定量.

第62回天然有機化合物討論会 (2020.9.23, オンライン発表)

森田いずみ*, 大山浩之*, 木口裕貴*, 田中理恵, 緒方潤, 花尻 (木倉) 瑠理, 小林典裕*: マジックマッシュルーム中シロシピン, シロシンのELISA.

第70回日本薬学会関西支部総会・大会 (2020.10.10, オンライン発表)

* 神戸薬科大学

田中誠司, 細江潤子, 政田さやか, 新井玲子, 袴塚高志, 合田幸広, 内山奈穂子: 機能性関与成分ピペリンの定量に用いる市販試薬の定量NMRを利用した絶対純度測定. 第6回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2020.11.7, オンライン発表)

最所和宏, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: 令和元年度無承認無許可医薬品の買い上げ調査について-強壮用健康食品等-

第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9, 誌上発表)

田中理恵, 河村麻衣子, 袴塚高志, 花尻 (木倉) 瑠理: 2019年-2020年の新規流通危険ドラッグ成分の同定.

第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9, 誌上発表)

政田さやか, 内山奈穂子, 袴塚高志, 合田幸広: 食薬区分照会に係る申請様式の整備について.

第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9, 誌上発表)

水谷佐久美, 河村麻衣子, 袴塚高志, 花尻 (木倉) 瑠理: Zopiclone 構造類似物質の分析法に関する検討.

第57回全国衛生化学技術協議会 (2020.11.9, 誌上発表)

Tanaka R, Kawamura M, Hakamatsuka T, Kikura-Hanajiri R: Identification of 11 substances known as "smart drugs" in Japan.

7th Annual Conference on Novel Psychoactive Substances (2020.11.18, オンライン発表)

内山奈穂子, 細江潤子, 杉本直樹, 石附京子, 小出達夫, 村林美香*¹, 宮下尚人*², 小林謙吾*², 藤峰慶徳*³, 横瀬俊幸*³, 大藤克也*⁴, 清水仁*⁴, 長谷部隆*⁵, 浅井由美*⁵, 江奈英里*⁵, 菊池純子*⁶, 清田浩平*⁶, 藤田和弘*⁶, 牧野吉伸*⁷, 八十歩直子*⁸, 山田裕子*⁹, 岩本芳明*⁹, 三浦亨*⁹, 水井浩司*⁹, 朝倉克夫*¹⁰, 末松孝子*¹¹, 小浜亜以*¹², 五島隆志*¹³, 安田万寿*¹³, 植田知彦*¹⁴, 合田幸広: ³¹P核を用いた³¹P-qNMRの検討 (1) シクロホスファミド水和物の絶対純度の測定.

第2回日本定量NMR研究会年会 (2020.12.4, ポスター発表)

*¹ 武田薬品工業 (株)

*² 第一三共 (株)

*³ 大塚製薬 (株)

*⁴ 中外製薬 (株)

*⁵ エーザイ (株)

*⁶ 塩野義製薬 (株)

*⁷ 十全化学 (株)

*⁸ 富士フイルム (株)

*⁹ 富士フイルム和光純薬 (株)

*¹⁰ 日本電子 (株)

*¹¹ (株) JEOL RESONANCE

*¹² (一財) 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団

*¹³ 日本新薬 (株)

*¹⁴ 大日本住友製薬 (株)

田中理恵, 河村麻衣子, 袴塚高志, 花尻 (木倉) 瑠理: 危険ドラッグ製品のNMRを用いた定量分析法の検討. 第2回定量NMR学会年会 (2020.12.4, ポスター発表)

田中誠司, 合田隆大*, 飯田哲生*, 堀江真之介*, 政田

さやか, 新井玲子, 山本栄一, 袴塚高志, 内山奈穂子: SFE/SFC/Q-TOFMSオンラインシステムを用いたシクロソニド吸入剤の簡易迅速分析法の検討 (1).

日本薬学会第141年会 (2021.3.27, オンライン発表)

* 島津製作所 (株)

田中誠司, 合田隆大*, 飯田哲生*, 堀江真之介*, 政田さやか, 山本栄一, 袴塚高志, 内山奈穂子: SFE/SFC/Q-TOFMSオンラインシステムを用いたシクロソニド吸入剤の簡易迅速分析法の検討 (2).

日本薬学会第141年会 (2021.3.26, オンライン発表)

* 島津製作所 (株)

新井玲子, 馬場萌^{*1}, 吉田雅昭^{*1}, 近藤誠三^{*1}, 辻本恭^{*2}, 内山奈穂子, 袴塚高志: ナリギンを指標としたHPLCによるキジツの定性及び定量分析の検討.

日本薬学会第141年会 (2021.3.26, オンライン発表)

^{*1} 小太郎漢方製薬 (株)

^{*2} 東京農工大学工学部

内山奈穂子, 細江潤子, 杉本直樹, 石附京子, 小出達夫, 村林美香^{*1}, 宮下尚人^{*2}, 小林謙吾^{*2}, 藤峰慶徳^{*3}, 横瀬俊幸^{*3}, 大藤克也^{*4}, 清水仁^{*4}, 長谷部隆^{*5}, 浅井由美^{*5}, 江奈英里^{*5}, 菊池純子^{*6}, 清田浩平^{*6}, 藤田和弘^{*6}, 牧野吉伸^{*7}, 八十歩直子^{*8}, 岩本芳明^{*9}, 三浦亨^{*9}, 水井浩司^{*9}, 朝倉克夫^{*10}, 末松孝子^{*11}, 小浜亜以^{*12}, 五島隆志^{*13}, 安田万寿^{*13}, 植田知彦^{*14}, 合田幸広: ³¹P-quantitative-NMR (³¹P-qNMR) を利用したシクロホスファミド水和物の絶対純度の検討 (2).

日本薬学会第141年会 (2020.3.27, オンライン発表)

^{*1} 武田薬品工業 (株)

^{*2} 第一三共 (株)

^{*3} 大塚製薬 (株)

^{*4} 中外製薬 (株)

^{*5} エーザイ (株)

^{*6} 塩野義製薬 (株)

^{*7} 十全化学 (株)

^{*8} 富士フイルム (株)

^{*9} 富士フイルム和光純薬 (株)

^{*10} 日本電子 (株)

^{*11} (株) JEOL RESONANCE

^{*12} (一財) 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団

^{*13} 日本新薬 (株)

^{*14} 大日本住友製薬 (株)

河野徳昭^{*1}, 酒井英二^{*2}, 井上聡^{*3}, 木内文之^{*4}, 丸山卓郎, 山崎真巳^{*5}, 松本敏一^{*6}, 岩本嗣^{*7}, 菱田敦之^{*1,8}, 五十嵐元子^{*1}, 安食菜穂子^{*1}, 林茂樹^{*1}, 乾貴幸^{*1}, 熊谷健夫^{*1}, 瀧野裕之^{*1}, 吉松嘉代^{*1}, 川原信夫^{*1}: 薬用植物総合情報データベースの拡充整備.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27, オンライン発表)

^{*1} (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

^{*2} 岐阜薬科大学

^{*3} (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センター

^{*4} 慶應大学薬学部

^{*5} 千葉大学大学院薬学研究院

^{*6} 島根大学生物資源科学部

^{*7} 神奈川工科大学大学院工学研究科

^{*8} 東京農業大学農学部

北添達樹^{*1}, 白畑辰弥^{*1}, 古平栄一^{*1}, 丸山卓郎, 河野徳昭^{*2}, 瀧野裕之^{*2}, 北野康史^{*3}, 吉松嘉代^{*2}, 川原信夫^{*2}, 小林義典^{*1}: ヒメハギ科生薬の品質評価: ¹H-NMRメタボリックプロファイリング.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27, オンライン発表)

^{*1} 北里大学薬学部

^{*2} (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

^{*3} 日本粉末薬品 (株)

新屋和花^{*1}, 徳本廣子, 林茂樹^{*2}, 安食菜穂子^{*2}, 高浦佳代子^{*3}, 袴塚高志, 丸山卓郎, 森田洋行^{*4}, 川原信夫^{*2}, 小松かつ子^{*4}, 高橋京子^{*3}, 木内文之^{*1}: インドジャボクの鏡検による鑑別.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27, オンライン発表)

^{*1} 慶應大学薬学部

^{*2} (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

^{*3} 大阪大学総合学術博物館

^{*4} 富山大学和漢医薬学総合研究所

辻本恭^{*1}, 山本豊^{*2}, 袴塚高志, 小関良宏^{*1}, 内山奈穂子: ¹³C-NMRメタボロミクスによるニンジンとコウジンの判別研究.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27, オンライン発表)

*1 東京農工大学工学部

*2 (株) 栃本天海堂

徳本廣子, 後藤佑斗, 辻本恭*1, 丸山卓郎, 袴塚高志, 白鳥誠*2, 新井玲子*2, 山本豊*3, 山田修嗣*4, 岡本拓也*5, 内山奈穂子: ロクジョウの鑑別法の検討 (3) 鏡検並びに蛍光を応用したロクジョウとトナカイ幼角の鑑別.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27, オンライン発表)

*1 東京農工大学工学部

*2 (株) ウチダ和漢薬

*3 (株) 栃本天海堂

*4 アルプス薬品工業 (株)

*5 イスクラ産業 (株)

政田さやか, 新井玲子, 内山奈穂子, 丸山卓郎, 和田篤敬1, 若林健一*1, 伊藤雅文*2, 平雅代*3, 小笠原幸人*4, 川崎純一*5, 平野泰雅*6, 諸田隆*6, 中村高敏, 伊藤美千穂*7, 羽田紀康*8, 袴塚高志: 配合生薬エキス製剤である当帰川芎製剤の品質評価法に関する研究.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27, オンライン発表)

*1 小林製薬 (株)

*2 大幸薬品 (株)

*3 ジューピーエス製薬 (株)

*4 和漢薬研究所 (株)

*5 イスクラ産業 (株)

*6 (株) ツムラ

*7 京都大学大学院薬学研究所

*8 東京理科大学薬学部

Garcia JCP*1, Li R*2, Kikura-Hanajiri R, Tanaka Y*1, Ishii Y*1: Effects of novel synthetic cannabinoids on the endogenous cannabinoids and their involvement on behavioral response.

日本薬学会第141年会 (2021.3.28, オンライン発表)

*1 Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kyushu University

*2 Research Department of Pharmacognosy, China Pharmaceutical University

河村麻衣子, 堺田志穂, 最所和宏, 袴塚高志, 花尻 (木倉) 瑠理: 超臨界流体クロマトグラフィー-四重極飛行

時間型質量分析 (SFC-QTOF-MS) によるED治療薬及び類縁体のスクリーニング分析法の検討.

日本薬学会第141年会 (2021.3.28, オンライン発表)

田中理恵, 河村麻衣子, 袴塚高志, 花尻 (木倉) 瑠理: qNMR法による危険ドラッグ製品中のLSD誘導体の定量.

日本薬学会第141回年会 (2021.3.28, オンライン発表)

水谷佐久美, 河村麻衣子, 袴塚高志, 花尻 (木倉) 瑠理: Tryptamine誘導体のGC/MS及びGC/QTOFMSを用いた熱反応生成物の検討.

日本薬学会第141年会 (2021.3.28, オンライン発表)

佐藤陽治: 遺伝子治療における生物多様性評価に関する日本と海外との制度の違い.

第19回日本再生医療学会総会 (2020.5.18)

佐藤陽治: 細胞外小胞製品の品質・安全性上のリスク.

第19回日本再生医療学会総会 (2020.5.18)

佐藤陽治: National Regenerative Medicine Database (NRMD) の運営と今後の展開.

第19回日本再生医療学会総会 (2020.5.18)

佐藤陽治: MEASURE (細胞加工製品の造腫瘍性評価に関する多施設共同研究) の概要.

第19回日本再生医療学会総会 (2020.5.18)

安田智: ヒト細胞加工製品の品質・安全性確保に必要なミニマム・コンセンサス・パッケージ.

第19回日本再生医療学会総会 (2020.5.18)

安田智, 田中直子*: 造腫瘍性細胞の検出を目的とした *in vivo* 試験の多施設検証.

第19回日本再生医療学会総会 (2020.5.18)

* テルモ (株)

澤田留美, 田中和沙, 山原研一*, 佐藤陽治: ヒト間葉系幹細胞の由来の違いによる遊走能及びサイトカイン産生能の比較.

第19回日本再生医療学会総会 (2020.5.18)

* 兵庫医科大学

小林健也*, 草川森士, 安田智, 黒田拓也, 佐藤陽治:

ヒト多能性幹細胞の三次元培養における生存率を向上させる培養方法と造腫瘍性.

第19回日本再生医療学会総会 (2020.5.18)

* 名古屋市立大学大学院

Kusakawa S, Sawada R, Yasuda S, Kuroda T, Sato Y: Trends in global clinical trial registration for MSC-based therapeutic products.

International Society for Cell and Gene Therapy 2020 Paris Virtual (2020.5.28)

Kono K, Kataoka K, Yuan Y*, Yusa K*, Uchida K*, Sato Y: Development of a highly sensitive method for detection of recombinant porcine endogenous retrovirus (PERV-A/C) A highly sensitive method for the detection of recombinant PERV-A/C env RNA using next generation sequencing technologies.

PDA Europe Virtual Conference - Virus Forum (2020.6.22)

* Kobe University

Sawada R, Tanaka K, Yamahara K*, Sato Y: Comparison of migration and cytokine production abilities depending on the origin of human mesenchymal stem cells.

International Society for Stem Cell Research 2020 (2020.6.26)

* Hyogo College of Medicine

Hirai T, Kono K, Sawada R, Kuroda T, Yasuda S, Matsuyama S, Matsuyama A*¹, Koizumi N*², Utoguchi N*², Mizuguchi H*³, Sato Y: Application of selective cytotoxic viral vector for concentration of undifferentiated cells in neural progenitor cells derived from induced pluripotent stem cells.

International Society for Stem Cell Research 2020 (2020.6.26)

*¹ Osaka Habikino Medical Center

*² Showa Pharmaceutical University

*³ Osaka University

Kuroda T, Yasuda S, Matsuyama S, Miura T, Matsuyama A*¹, Itoh M*², Kawaji H*², Kawai J*², Sato

Y: A transcriptomic approach to identify predictive markers for differentiation potential of human induced pluripotent stem cells into neural progenitor cells.

International Society for Stem Cell Research 2020 (2020.6.28)

*¹ Fujita Health University

*² RIKEN Center

Sato Y: Evaluation of Genome Instability and Safety of Cell Therapy Products.

the 47th Annual Meeting of the Japanese Society of Toxicology (2020.7.1)

Sato Y: Japanese Guidelines on Ensuring the Quality and Safety of Human Cell-Based Therapeutic Products. Safety Pharmacology Society 2020 Annual Meeting (2020.9.14)

Sato Y: Points to Consider on the Quality of Raw Materials for the Manufacture of Cell-based Therapeutic Products.

The 2020 Cell & Gene Meeting on the Mesa (2020.10.12)

安田智: MEASURE 2 の概要説明.

第20回日本再生医療学会総会 (2021.3.11)

黒田拓也, 安田智, 松山さと子, 三浦巧, 澤田留美, 松山晃文*¹, 森岡勝樹*², 山本由美子*², 川路英哉*², 伊藤昌可*², 河合純*², 佐藤陽治: ヒトiPS細胞における神経分化予測マーカーの同定.

第20回日本再生医療学会総会 (2021.3.11)

*¹ 大阪はびきの医療センター

*² 理化学研究所

草川森士, 安田智, 平井孝昌, 河野健, 西野泰斗*, 大塚敬一朗*, 佐藤陽治: 正常細胞中に混入させたHEK293細胞の造腫瘍性評価.

第20回日本再生医療学会総会 (2021.3.11)

* 日産化学 (株)

平井孝昌, 河野健, 澤田留美, 黒田拓也, 安田智, 松山さと子, 松山晃文*¹, 小泉直也*², 宇都口直樹*², 水口裕之*³, 佐藤陽治: 選択的細胞傷害性ウイルスベクター

による未分化細胞の濃縮効果.
第20回日本再生医療学会総会 (2021.3.11)

*¹ 大阪はびきの医療センター

*² 昭和薬科大学

*³ 大阪大学

佐藤陽治：再生医療等製品市販後データ登録システム
NRMD/PMS の現状と課題.

第20回日本再生医療学会総会 (2021.3.12)

佐藤陽治：細胞加工製品のQbD製造における必須品質
特性評価のための*in vitro*アッセイ.

第20回日本再生医療学会総会 (2021.3.12)

佐藤陽治：再生医療臨床研究のデータベース NRMD/
CRの管理・運営.

第20回日本再生医療学会総会 (2021.3.13)

澤田留美：細胞外小胞製品の品質評価に関する課題と国
内外の規制について.

第20回日本再生医療学会総会 (2021.3.13)

草川森士, 松坂恭成*, 植沢芳広*, 佐藤陽治, 佐藤光
利*: 足場非依存的コロニー形成試験における異常細胞
コロニーの深層学習による画像識別モデルの評価.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

* 明治薬科大学

河野健：医薬品製造基材に含まれる内在性レトロウイル
スの安全性評価について.

日本薬学会第141回年会 (2021.3.28)

井上貴雄：核酸医薬品の開発動向とDDS.

日本薬剤学会第35年会 (2020.5.15)

平松直人*¹, 内田恵理子, 犬飼直人*¹, 岩井健一*¹, 渡
辺武志*¹, 川崎秀吉*², 田村幸太郎*², 吉見英治*², 高
橋則彦*³, 伊原辰哉*⁴, 藤本和則*⁵, 山下晃人*⁶, 小野
貴士*⁴, 高木観*⁷, 小野竜一, 内藤雄樹*⁸, 井上貴雄:
ゲノム編集技術を用いた遺伝子治療の開発動向.

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

*¹ 武田薬品工業 (株)

*² アステラス製薬 (株)

*³ 大塚製薬 (株)

*⁴ 小野薬品工業 (株)

*⁵ 第一三共 (株)

*⁶ 大日本住友製薬 (株)

*⁷ 田辺三菱製薬 (株)

*⁸ ライフサイエンス統合データベースセンター

井上貴雄：核酸医薬開発の現状と今後の展望.

第63回日本腎臓学会学術総会 (2020.8.19)

梅村圭祐*¹, 大槻昇三*¹, 井上貴雄, 高橋有己*¹, 高倉
喜信*¹, 西川元也*²: ナノ構造化核酸の細胞取り込みに
おけるマクロファージスカベンジャーレセプター1の関
与.

第36回日本DDS学会学術集会 (2020.8.28)

*¹ 京都大学大学院薬学研究科

*² 東京理科大学薬学部

井上貴雄：核酸医薬品開発の現状と課題.

第36回日本DDS学会学術集会 (2020.8.28)

尤馨悦, 築茂由則, 小原有弘*, 鈴木孝昌: がん遺伝子
パネル検査用標準物質の開発とその評価.

第27回日本遺伝子診療学会 (2020.9.11)

* 医薬基盤・健康・栄養研究所

吉田徳幸, 内藤雄樹*, 築茂由則, 鈴木孝昌, 大岡伸通,
山本武範, 内田恵理子, 井上貴雄: COVID-19診断用
PCRプライマーの交差性解析を支援する検索システムの
構築.

第10回レギュラトリーサイエンス学会学術大会
(2020.9.12)

* ライフサイエンス統合データベースセンター

築茂由則, 鈴木孝昌, 吉田徳幸, 大岡伸通, 山本武範,
内田恵理子, 井上貴雄: COVID-19診断用PCR検査薬の
性能評価に関する調査研究.

第10回レギュラトリーサイエンス学会学術大会
(2020.9.12)

Ohoka N, Naito M: Targeted protein degradation by
chimeric small molecules that recruit new E3 ligase.

第93回日本生化学会大会 新学術領域研究ケモユビキ
チン共催シンポジウム「New frontier for ubiquitin
biology driven by chemo-technologies」(2020.9.15)

大岡伸通, 柴田識人, 築茂由則, 内藤幹彦: 急性骨髄性白血病に対するFLT3分解誘導キメラ化合物の開発.
第79回日本癌学会学術総会 (2020.10.1)

築茂由則, 大岡伸通, 柴田識人, 内藤幹彦: キメラ化合物SNIPERによるチロシンキナーゼ受容体の分解誘導機構の解析.
第79回日本癌学会学術総会 (2020.10.1)

大岡伸通, 内藤幹彦: 急性骨髄性白血病に対するFLT3分解誘導キメラ化合物の開発.
第24回日本がん分子標的治療学会学術集会 (2020.10.8)

内田恵理子: 日本と海外規制の違いーカルタヘナ法について (遺伝子治療にかかるカルタヘナ法規制).
CRCと臨床試験のあり方を考える会議2020 in 長崎 (2020.11.3)

山下拓真, 内藤雄樹*, 山本武範, 吉田徳幸, 井上貴雄, 内田恵理子: CRISPR-Cas9ゲノム編集に伴うオフターゲット変異サイトの配列法則性の包括的解析.
第6回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2020.11.07)

* ライフサイエンス統合データベースセンター

吉田徳幸, 内藤雄樹*, 築茂由則, 鈴木孝昌, 大岡伸通, 山本武範, 内田恵理子, 井上貴雄: COVID-19診断用PCRプライマー交差性解析システムの開発.
第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

* ライフサイエンス統合データベースセンター

築茂由則, 鈴木孝昌, 吉田徳幸, 大岡伸通, 山本武範, 内田恵理子, 井上貴雄: 緊急開発するPCR検査薬の性能評価の在り方に関する調査研究.
第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

鈴木孝昌, 新妻夏季*¹, 尤馨悦*², 欒洋*², 山田雅巳*¹: MinION シークエンサーのホールゲノム遺伝子突然変異試験への応用.
日本環境変異原学会第49回大会 (2020.11.26)

*¹ 防衛大学校

*² 上海交通大学

小藪大智*, 新妻夏季*, 鈴木孝昌, 山田雅巳*: アリス

トロキア酸が誘発する突然変異スペクトラムとその要因.
日本環境変異原学会第49回大会 (2020.11.26)

* 防衛大学校

井上貴雄: ゲノム編集技術を用いた遺伝子治療による遺伝毒性リスクと安全性評価.
日本環境変異原学会第49回大会 (2020.11.27)

井上貴雄: 核酸医薬開発の現状と今後の展望.
第39回日本認知症学会学術集会 (2020.11.28)

大岡伸通, 横尾英知, 内藤幹彦, 井上貴雄, 出水庸介: 非天然アミノ酸を有するヘリカルペプチドを利用したタンパク質分解誘導キメラ分子の開発.
第43回日本分子生物学会年会 (2020.12.2)

山下拓真, 内藤雄樹*, 山本武範, 吉田徳幸, 井上貴雄, 内田恵理子: 特異性の低いガイドRNAを用いたオフターゲット切断配列条件の包括的解析.
第43回日本分子生物学会年会 (2020.12.3)

* ライフサイエンス統合データベースセンター

吉田徳幸, 佐々木澄美, 小比賀聡*, 井上貴雄: アンチセンス医薬のオフターゲット効果の評価法に関する研究.
第43回日本分子生物学会年会 (2020.12.3)

* 大阪大学大学院薬学研究科

井上貴雄: 核酸医薬品の安全性確保のためのオフターゲット作用の評価技術開発.
創薬基盤推進研究事業研究成果発表会 (2020.12.28)

山下拓真, 内藤雄樹*, 山本武範, 吉田徳幸, 井上貴雄, 内田恵理子: CRISPR-Cas9ゲノム編集を利用した遺伝子治療によるオフターゲット変異候補部位の網羅的解析.
日本薬学会第141年会 (2021.03.27)

* ライフサイエンス統合データベースセンター

大岡伸通, 横尾英知, 井上貴雄, 出水庸介: ペプチドリガンドを利用したタンパク質分解誘導キメラ分子の開発.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

吉田徳幸, 内藤雄樹*, 築茂由則, 鈴木孝昌, 大岡伸通, 山本武範, 内田恵理子, 井上貴雄: COVID-19診断用PCRプライマーの交差性解析を支援する検索システムの開発.

日本薬学会第141年会 (2021.3.28)

* ライフサイエンス統合データベースセンター

築茂由則, 鈴木孝昌, 吉田徳幸, 大岡伸通, 山本武範, 内田恵理子, 井上貴雄: COVID-19診断用PCR検査薬の性能評価に使用された検体に関する調査研究.

日本薬学会第141年会 (2021.3.28)

宮島敦子, 黒田幸恵, 干川和枝, 簾内桃子, 満長克祥*¹, 入江智彦, 大野泰雄*², 宇佐見誠: 4- or 5-Methyl-2-mercaptobenzimidazoleによる初代培養ラット肝細胞におけるCYP活性に及ぼす影響.

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

*¹ 東邦大学

*² 木原記念横浜生命科学振興財団

中岡竜介, 岩下紘子*¹, 堀裕一*¹, 馬淵清資*², 酒井利奈*², 氏平政伸*², 松永透*³, 靑島由二: カラーコンタクトレンズに起因した眼障害の原因究明に関する研究ーレンズの摩擦特性に関する検討ー.

第10回レギュラトリーサイエンス学会大会 (2020.9.12)

*¹ 東邦大学大学院医学系研究科 眼科学講座

*² 北里大学 医療衛生学部

*³ 株式会社シート 研究開発部

森下裕貴*¹, 野村祐介, 福井千恵, 河上強志, 大中浩貴*², 飯高健*², 菊池正憲*³, 石井剛*³, 根岸保則*³, 靑島由二: 医療機器の遺伝毒性試験用新規標準材料の開発と国際標準化.

レギュラトリーサイエンス学会第10回学術大会シンポジウム (2020.9.12)

*¹ 日本医療研究開発機構

*² 日精バイリス

*³ 薬物安全性試験センター

迫田秀行, 岡本吉弘, 靑島由二, 菅野伸彦*: ダイナミック超微小硬度計により測定した超高分子量ポリエチレン

製コンポーネント内部の力学特性分布.

第47回日本臨床バイオメカニクス学会 (2020.11.6)

* 大阪大学

植松美幸, 宮本優子, 迫田秀行, 岡本吉弘, 中岡竜介, 靑島由二: 使用済み単回使用医療機器の清浄性評価に向けた残留タンパク質定量法の検討.

第6回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2020.11.7)

植松美幸, 岡本吉弘, 靑島由二: 降温及び昇温過程における医用材料表面近傍の水分子挙動に関する分子動力学的検討.

第58回日本人工臓器学会 (2020.11.13)

岡本吉弘, 庄島正明*¹, 新妻邦泰*², 太田信*², 植松美幸, 迫田秀行, 靑島由二: コイル塞栓術における脳血管内治療医の注視点の特徴と経験症例数との関係

第58回日本人工臓器学会大会 (2020.11.13)

*¹ 埼玉医科大学

*² 東北大学

森脇健司*, 岡本吉弘, 藤崎和弘*: バルーンカテーテル拡張時に血管モデル内壁に作用する接触圧力の計測: 血管壁の弾性率の影響

第58回日本人工臓器学会大会 (2020.11.13)

* 弘前大学

野村祐介, 藤澤彩乃*, 松下幸平, 豊田武士, 福井千恵, 森下裕貴, 小川久美子, 鄭雄一*, 靑島由二: RNAアプタマーを利用した組織再生を促進する新規機能性医用材料の創製に関する研究.

第58回日本人工臓器学会大会 (2020.11.14)

* 東京大学

岡本吉弘, 植松美幸, 加藤玲子, 迫田秀行, 野村祐介, 中岡竜介, 宮島敦子, 靑島由二: 企業が悩む医療機器規制対応行動変容プログラムを中心に

第58回日本人工臓器学会大会 (2020.11.14)

岡本吉弘, 森脇健司*¹, 山家弘雄*², 植松美幸, 迫田秀行, 靑島由二: バルーンカテーテルから血管が受ける接触圧力に関する実験的検証

第36回日本脳神経血管内治療学会学術総会 (2020.11.19)

*1 弘前大学

*2 昭和大学

植松美幸, 宮本優子, 追田秀行, 岡本吉弘, 靛島由二: 医療機器の清浄性評価における残留タンパク質定量法の予備的検討.

第29回日本コンピュータ外科学会 (2020.11.22)

Sakoda H, Okamoto Y, Haishima Y: Acceleration effect of the use of higher test load on in vitro delamination test of UHMWPE for joint prostheses.

Orthopaedic Research Society, 67th Annual Meeting (2021.2.12)

久保田領志, 秋山卓美, 長谷山和子*1, 渡辺慎*2, 五十嵐良明: 化粧品原料中金属不純物試験法に関する検討: 外原規試験法とマイクロ波分解法の比較.

第45回日本化粧品学会 (2020.6.13)

*1 資生堂グローバルイノベーションセンター

*2 花王株式会社

内野正, 小林憲弘, 五十嵐良明: 水系暴露濃度予測モデルを用いたヒト用医薬品の河川中濃度の推定.

第47回毒性学会学術年会 (2020.6.29)

大嶋直浩, 山下忠俊*1, 丸山卓郎, 内山奈穂子, 日向須美子*2, 日向昌司, 白畑辰弥*3, 天倉吉章*4, 伊東秀之*5, 楊金緯*1, 嶋田典基*1, 小田口浩*2, 花輪壽彦*2, 小林義典*3, 袴塚高志, 合田幸広: エフェドリンアルカロイド除去麻黄エキスの製造法と指標成分.

第3回COI学術交流会 (2020.7.2)

*1 (株) 常磐植物化学研究所

*2 北里大学東洋医学総合研究所

*3 北里大学薬学部

*4 松山大学薬学部

*5 岡山県立大学保健福祉学部

飯島茂子*1, 高山典子*1, 鈴木加余子*2, 松永佳世子*2,3, 田原麻衣子, 河上強志: FreeStyleリブレ®センサー接着テープによるアレルギー性接触皮膚炎の1例.

第103回日本皮膚科学会茨城地方会 (2020.7.5)

*1 はなみずきクリニック

*2 藤田医科大学ばんだね病院総合アレルギー科

*3 藤田医科大学医学部アレルギー疾患対策医療学

Azuma K*1, Jinno H*2, Tanaka-Kagawa T*3, Sakai S: Comprehensive approach for reducing health risks due to indoor air pollutants.

32nd Annual Conference of the International Society for Environmental Epidemiology (2020.8.24)

*1 Kindai University

*2 Meijo University

*3 Yokohama University of Pharmacy

中森俊輔*1, 宮嶋直紀*1, 日向須美子*2, 好村守生*3, 天倉吉章*3, 楊金緯*4, 内山奈穂子, 日向昌司, 大嶋直浩, 袴塚高志, 合田幸広, 小田口浩*2, 花輪壽彦*2, 小林義典*1: EFEの単回及び2回投与による鎮痛作用の比較とEFEの活性成分の探索.

第37回和漢医薬学会学術大会 (2020.8.29)

*1 北里大学薬学部

*2 北里大学東洋医学総合研究所

*3 松山大学薬学部

*4 (株) 常磐植物化学研究所

酒井信夫, 田辺新一*1, 金炫兌*2, 伊藤一秀*3, 田原麻衣子, 斎藤育江*4, 香川(田中)聡子*5, 神野透人*6, 五十嵐良明: 衛生試験法 室内空気中フタル酸エステル類測定法の国際規格化: ISO16000-33の改訂.

フォーラム2020 衛生薬学・環境トキシコロジー (2020.9.4)

*1 早稲田大学創造理工学部

*2 山口大学工学部

*3 九州大学大学院総合理工学研究院

*4 東京都健康安全研究センター

*5 横浜薬科大学

*6 名城大学薬学部

森葉子*1, 青木明*1, 岡本誉士典*1, 埴岡伸光*2, 香川(田中)聡子*2, 田原麻衣子, 河上強志, 酒井信夫, 神野透人*1: 2-Ethyl-1-hexanol含有エステルの加水分解性評価に関する研究.

フォーラム2020 衛生薬学・環境トキシコロジー (2020.9.4)

*1 名城大学薬学部

*² 横浜薬科大学

河上強志, 田原麻衣子, 五十嵐良明: アレルギー性接触皮膚炎の原因究明のための化学分析事例.

フォーラム2020 衛生薬学・環境トキシコロジー (2020.9.4)

大嶋直浩, 勝見映海^{*1}, 加川夏子^{*2}, 小原均^{*2}, 羽田紀康^{*1}: 柿蒂の季節変動成分の解明 (2).

第6回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2020.11.7)

*¹ 東京理科大学

*² 千葉大学 環境健康フィールド科学センター

五十嵐良明, 酒井信夫, 佐々木和実^{*}, 小濱とも子, 秋山卓美, 安達玲子: 化粧品に用いられるタンパク質性成分の分子プロファイル解析及び欧米における規制基準調査.

第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

* 独立行政法人製品評価技術基盤機構

酒井信夫, 高木規峰野, 高橋夏子, 田原麻衣子, 五十嵐良明, 大泉詩織^{*1}, 小金澤望^{*2}, 柴田めぐみ^{*3}, 沼野聡^{*4}, 千葉美子^{*5}, 竹熊美貴子^{*6}, 橋本博之^{*7}, 大竹正芳^{*8}, 角田徳子^{*9}, 上村仁^{*10}, 田中礼子^{*11}, 高居久義^{*12}, 細貝恵深^{*13}, 健名智子^{*14}, 小林浩^{*15}, 伊藤彰^{*16}, 青木梨絵^{*17}, 大野浩之^{*18}, 三田村徳子^{*19}, 吉田俊明^{*20}, 古市裕子^{*21}, 八木正博^{*22}, 伊達英代^{*23}, 荒尾真砂^{*24}, 松本弘子^{*25}, 岩崎綾^{*26}: 令和元年度 室内空気環境汚染に関する全国実態調査.

第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

*¹ 北海道立衛生研究所

*² 札幌市衛生研究所

*³ 青森県環境保健センター

*⁴ 岩手県環境保健研究センター

*⁵ 宮城県保健環境センター

*⁶ 埼玉県衛生研究所

*⁷ 千葉県衛生研究所

*⁸ 千葉市環境保健研究所

*⁹ 東京都健康安全研究センター

*¹⁰ 神奈川県衛生研究所

*¹¹ 横浜市衛生研究所

*¹² 川崎市健康安全研究所

*¹³ 新潟県保健環境科学研究所

*¹⁴ 富山県衛生研究所

*¹⁵ 山梨県衛生環境研究所

*¹⁶ 静岡県環境衛生科学研究所

*¹⁷ 愛知県衛生研究所

*¹⁸ 名古屋市衛生研究所

*¹⁹ 滋賀県衛生科学センター

*²⁰ 大阪健康安全基盤研究所

*²¹ 大阪市立環境科学研究所

*²² 神戸市環境保健研究所

*²³ 広島県立総合技術研究所保健環境センター

*²⁴ 高知県衛生環境研究所

*²⁵ 福岡市保健環境研究所

*²⁶ 沖縄県衛生環境研究所

酒井信夫, 高木規峰野, 高橋夏子, 田原麻衣子, 五十嵐良明: 寝具から放散される揮発性有機化合物に関する研究.

第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

久保田領志, 秋山卓美, 五十嵐良明: マイクロ波分解-ICP-MSによる化粧品原料中金属不純物試験法の検討.

第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

内野正, 土屋裕子, 小林憲弘, 五十嵐良明: 令和元年度厚生労働省水道水質検査精度管理のための統一試料調査の結果.

第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

西以和貴^{*1}, 上村仁^{*1}, 大嶋智子^{*2}, 菅谷なえ子^{*3}, 印南佳織^{*4}, 田畑佳世^{*5}, 河上強志: 家庭用品試験法における防虫剤改正試験法の妥当性評価例.

第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

*¹ 神奈川県衛生研究所

*² 大阪健康安全基盤研究所

*³ 横浜市衛生研究所

*⁴ 千葉県衛生研究所

*⁵ 堺市衛生研究所

大嶋智子^{*}, 山口之彦^{*}, 角谷直哉^{*}, 河上強志: 家庭用品規制法における防炎加工剤の試験法の検討 (Ⅲ).

第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

* 大阪健康安全基盤研究所

河上強志, 菅谷なえ子^{*1}, 田原麻衣子, 大嶋智子^{*2}, 西以和貴^{*3}, 上村仁^{*3}, 塩田寛子^{*4}, 鈴木郁雄^{*4}, 田畑佳

世^{*5}, 五十嵐良明: 有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律(有害物質含有家庭用品規制法)におけるメタノール, トリクロロエチレン及びテトラクロロエチレン試験法改定に係る検討.

第57回全国衛生化学技術協議会年会(2020.11.9)

^{*1} 横浜市衛生研究所

^{*2} 大阪健康安全基盤研究所

^{*3} 神奈川県衛生研究所

^{*4} 東京都健康安全研究センター

^{*5} 堺市衛生研究所

河上強志, 田原麻衣子, 五十嵐良明: 家庭用芳香・消臭・脱臭剤に使用されている第四級アンモニウム系化合物の実態調査.

第57回全国衛生化学技術協議会年会(2020.11.9)

Norihiro Kobayashi, Yuko Tsuchiya, Sokichi Takagi*, Yoshiaki Ikarashi: GC/MS target screening method for 176 agricultural chemicals in drinking water samples. SETAC North America 41st Annual Meeting (2020.11.15).

* Osaka Institute of Public Health

Takagi S^{*1}, Hasegawa Y.^{*1}, Koike M^{*1}, Yoshida J^{*1}, Adachi F^{*1}, Kobayashi N, Kadokami K^{*2}, Yamaguchi N^{*1}: Concentrations of agricultural chemicals in water sources by the target screening method using LC-QTOF-MS-SWATH.

SETAC North America 41st Annual Meeting (2020.11.15).

^{*1} Osaka Institute of Public Health

^{*2} The University of Kitakyushu

香川(田中)聡子^{*1}, 斎藤育江^{*2}, 酒井信夫, 河上強志, 田原麻衣子, 上村仁^{*3}, 千葉真弘^{*4}, 大貫文^{*2}, 大泉詩織^{*4}, 三浦伸彦^{*1}, 河村伊久雄^{*1}, 五十嵐良明, 埴岡伸光^{*1}, 神野透人^{*5}: 室内空气中フタル酸エステル類標準試験法の妥当性評価.

2020年室内環境学会学術大会(2021.12.3)

^{*1} 横浜薬科大学

^{*2} 東京都健康安全研究センター

^{*3} 神奈川県衛生研究所

^{*4} 北海道立衛生研究所

^{*5} 名城大学薬学部

木村直樹*, 大嶋直浩, 袴塚高志, 羽田紀康*: 補中益気湯における構成生薬間の相互作用解析.

日本医科大学・東京理科大学第7回合同シンポジウム(2020.12.5)

* 東京理科大学

大室嘉恵*, 今井沙紀*, 坪井妙恵*, 大嶋直浩, 羽田紀康*, 磯濱洋一郎*: 潰瘍性大腸炎に対する青黛由来生理活性成分の探索.

東京理科大学薬学部DDSシンポジウム2020(2020.12.19)

* 東京理科大学

定本真梨子^{*1}, 関東裕美^{*1}, 伊藤崇^{*1}, 田中博子^{*1}, 鷺崎久美子^{*2}, 橋本由起^{*1}, 田原麻衣子, 河上強志, 五十嵐良明, 仲田佳子^{*3}, 石河晃^{*1}: CPAP(持続陽圧呼吸療法)のマスクベルトによる接触皮膚炎の一例.

第50回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会(2020.12.23)

^{*1} 東邦大学医療センター大森病院

^{*2} 大森町皮膚科

^{*3} 仲田クリニック

鈴木加余子^{*1}, 二村恭子^{*1}, 河上強志, 沼田充^{*2}, 佐々木和実^{*2}, 松永佳世子^{*1,3}, 矢上晶子^{*1}: 使い捨て紙ナプキンによる接触皮膚炎の1例.

第50回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会(2020.12.23)

^{*1} 藤田医科大学ばんだね病院総合アレルギー科

^{*2} 製品評価技術基盤機構

^{*3} 藤田医科大学医学部アレルギー疾患対策医療学

内野正, 小林憲弘, 五十嵐良明: ヒト用医薬品4種の水系暴露濃度予測モデル(AIST-SHANEL)による河川中濃度の推計.

第55回水環境学会年会(2021.3.4)

五十嵐良明, 小濱とも子, 吉田充哉^{*1}, 安田純子^{*2}, 久世哲也^{*3}, 野村淳子^{*4}, 森茂樹^{*5}, 高野勝弘^{*6}, 小島尚^{*7}, 藤井まき子^{*8}: 香粧品試験法 水銀.

日本薬学会第141年会(2021.3.27)

*¹ 日本食品分析センター

*² (株) コーセー

*³ (株) カネボウ化粧品

*⁴ (株) 資生堂

*⁵ ポーラ化成工業 (株)

*⁶ 日本化粧品工業連合会

*⁷ 帝京科学大学

*⁸ 日本大学

酒井信夫, 大嶋直浩, 田原麻衣子, 山本栄一, 宮崎玉樹, 安藤大介, 伊豆津健一, 安達玲子, 手島玲子^{*1}, 小村純子^{*2}, 五十嵐良明: 豪州における医薬品に含まれるアレルギー物質の表示に関する実態調査.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

*¹ 岡山理科大学獣医学部

*² 摂南大学薬学部

大嶋直浩, 酒井信夫, 高木規峰野, 五十嵐良明: 室内空気中フタル酸エステル類のGC/MS分析に用いるキャリアガスの比較.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

大坪桃子*, 大嶋直浩, 羽田紀康*, 月本光俊*: チリロシドによる遅延型過敏症抑制効果の検討.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

* 東京理科大学

熊谷朝日*, 大嶋直浩, 羽田紀康*: 生薬の配合によるオウゴン由来フラボノイドの抽出量の変化.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

* 東京理科大学

大河内聡子*, 大嶋直浩, 羽田紀康*: サンショウの季節変動を示す成分の解明 (2).

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

* 東京理科大学

中森俊輔^{*1,2}, 竹内純^{*1,2}, 日向須美子^{*2}, 内山奈穂子, 辻本恭^{*3}, 宮嶋直紀^{*1,2}, 楊金緯^{*4}, 大嶋直浩, 天倉吉章^{*5}, 日向昌司, 袴塚高志, 合田幸広, 小田口浩^{*2}, 花輪壽彦^{*2}, 小林義典^{*1,2}: エフェドリンアルカロイド除去麻黄エキス配合漢方薬の品質管理における指標成分の検討.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

*¹ 北里大学薬学部

*² 北里大学東洋医学総合研究所

*³ 東京農工大学

*⁴ (株) 常磐植物化学研究所

*⁵ 松山大学薬学部

秋山卓美, 五十嵐良明: 医薬部外品原料規格に記載される生物種の学名と分類学で用いられる学名との比較.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

久保田領志, 秋山卓美, 五十嵐良明: 化粧品中アンチモン分析におけるマイクロ波酸分解条件の検討.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

河上強志, 小濱とも子, 酒井信夫, 高木規峰野, 高橋夏子, 大嶋直浩, 田原麻衣子, 五十嵐良明: 家庭用マスクに含まれる揮発性有機化学物質及び紫外線吸収剤の実態.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

田原麻衣子, 酒井信夫, 大貫文^{*1}, 斎藤育江^{*1}, 千葉真弘^{*2}, 大泉詩織^{*2}, 田中礼子^{*3}, 山之内孝^{*3}, 大野浩之^{*4}, 若山貴成^{*4}, 横山結子^{*5}, 遠藤治^{*6}, 鳥羽陽^{*7}, 中島大介^{*8}, 藤森英治^{*9}, 神野透人^{*10}, 香川 (田中) 聡子^{*11}: 空気試験法 揮発性有機化合物 固相吸着-溶媒抽出-ガスクロマトグラフィー/質量分析法による定量.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

*¹ 東京都健康安全研究センター

*² 北海道立衛生研究所

*³ 横浜市衛生研究所

*⁴ 名古屋市衛生研究所

*⁵ 千葉県衛生研究所

*⁶ 麻布大学生命・環境科学部

*⁷ 長崎大学薬学部

*⁸ 国立環境研究所

*⁹ 環境調査研修所

*¹⁰ 名城大学薬学部

*¹¹ 横浜薬科大学

堤智昭, 高附巧, 今村正隆, 前田朋美, 穂山浩: マーケットバスケット方式によるポリ塩化ビフェニルの摂取量調査 (2016-2018).

日本食品化学学会第26回総会・学術大会 (2020.5.28)

中村公亮, 木俣真弥, 成島純平, 志波優, 秋本智, 曾我慶介, 権藤崇裕, 明石良, 近藤一成: ゲノム編集食品に残留する意図せざるDNA切断の予測・検出法の評価(第2報).

日本食品化学学会第26回総会・学術大会 (2020.5.28)

赤星千絵*, 佐藤英子*, 吉田裕一*, 大森清美*, 中村公亮: 遺伝子組換え食品やアレルゲン含有食品検査を目的とした場合のりんごとバナナドライフルーツ製品中のDNA検出の試み.

日本食品化学学会第26回総会・学術大会 (2020.5.28)

* 川崎市健康安全研究所

田口貴章, 穂山浩: 健康食品の製造管理及び品質管理(GMP)の現状と課題.

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

根本了: 残留農薬等試験法における妥当性確認.

フォーラム2020 衛生薬学・環境トキシコロジー (2020.9.5)

Saito-Shida S, Kashiwabara N, Nemoto S, Akiyama H: Development of an analytical method for determination of total ethofumesate residues in foods by gas chromatography-tandem mass spectrometry.

2020 AOAC Annual Meeting & Exposition (2020.9.8)

Nakamura K, Seki Y*, Arimoto C*, Kikuchi H, Yamakawa H*, Akiyama H: Development of a novel LC-MS/MS detection method to simultaneously detect wheat and buckwheat specific proteins in processed food commodities.

2020 AOAC Annual Meeting & Exposition (2020.9.8)

* Nisshin Seifun Group Inc.

五十嵐由樹*, 堤智昭, 穂山浩, 井之上浩一*: LC-MS/MSを用いた清涼飲料水中の有機フッ素化合物の一斉分析法の確立と実態調査.

第115回日本薬学会関西支部大会 (2020.10.4)

* 立命館大院薬

鈴木美成, 岡本悠佑, 近藤翠, 谷泉美, 田中佑樹*, 小椋康光*, 穂山浩: sp-ICP-MS法によるナノ粒子の特性解析へのベイズ推定の有効性.

生命金属に関する合同年会2020 (2020.11.7)

* 千葉大院薬

根本了, 坂井隆敏, 大倉知子, 縄田裕美, 朝倉敬行*¹, 五十川裕記*², 鳥海栄輔*³, 中島安基江*⁴, 中南真理子*⁵, 平川佳則*⁶, 脇ますみ*⁷, 菊地博之, 志田(齊藤)静夏, 穂山浩: HPLCによる動物用医薬品等の一斉試験法I(畜産物)改良法の妥当性評価結果について.

第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

*¹ (一財) 東京顕微鏡院

*² (株) 環境科学研究所

*³ (一財) 日本食品分析センター

*⁴ 広島県立総合技術研究所保健環境センター

*⁵ 岩手県環境保健研究センター

*⁶ (一財) 食品環境検査協会

*⁷ 神奈川県衛生研究所

坂井隆敏, 菊地博之, 縄田裕美, 根本了, 穂山浩: 畜産物中の酢酸メレンゲステロールの分析法の開発.

第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

志田(齊藤)静夏, 柏原奈央, 根本了, 穂山浩: 畜産物中のチアムリン試験法の開発.

第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

小林麻紀*, 酒井奈穂子*, 大町勇貴*, 森田有香*, 根本了, 大塚建治*: LC-MS/MSによる畜産物中クロタニル代謝Iの分析法.

第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

* 東京都健康安全研究センター

岡元千明*, 今井浩一*, 吉田栄充*, 石井里枝*, 根本了, 穂山浩: LC-MS/MSを用いた農産物中のプロピリルフロン分析法の検討.

第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

* 埼玉県衛生研究所

鍋師裕美, 松田りえ子, 曾我慶介, 堤智昭, 中村公亮, 穂山浩, 蜂須賀暁子: 2019年度公表の食品中放射性物質濃度検査データの解析.

第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

堤智昭, 足立利華, 穂山浩: ヘリウムセーパーインジェ

クターを用いた有機塩素系農薬の測定に関する検討.
第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

鈴木美成, 近藤翠, 谷泉美, 穂山浩: トータルダイエツトスタディーを用いた有害元素・金属類の摂取量評価—2019年の調査結果—.
第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

穂山浩: 残留農薬等のレギュラトリーサイエンス.
第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

穂山浩: 残留農薬等のレギュラトリーサイエンス.
公益社団法人日本食品衛生学会ブロックイベント近畿ブロック公開セミナー 食品に関するリスクコミュニケーション: 残留農薬等のリスクアナリシスについて (2020.12.18)

坂井隆敏, 菊地博之, 縄田裕美, 根本了, 穂山浩: 畜産物中のデキサメタゾンおよびベタメタゾンの分析法.
第116回日本食品衛生学会学術講演会 (2020.11.24)

高橋未来*, 矢田真紘*, 坂井隆敏, 根本了, 穂山浩, 井之上浩*: 水蒸気蒸留法およびLC-MS/MSを用いた畜産物におけるアラクロール分析法の構築.
第116回日本食品衛生学会学術講演会 (2020.11.24)

* 立命館大学

田口貴章, 難波樹音, 山下涼香, 岸美紀*, 赤星千絵*, 岡部信彦*, 穂山浩: 食品テロ対策のためのLC-MS/MSによる血液・尿等人体試料中のカーバメート系農薬の一斉分析法の検討.
日本食品衛生学会第116回学術講演会 (2020.11.24)

* 川崎市健康安全研究所

鈴木美成, 穂山浩: トータルダイエツトスタディーによる農薬摂取量の推定におけるベイズモデルを用いた精緻化.
日本食品衛生学会第116回学術講演会 (2020.11.24)

穂山浩: 食品表示と自然毒等のレギュラトリーサイエンス研究.
第116回日本食品衛生学会学術講演会 (2020.11.24)

穂山浩: いわゆる健康食品・機能性食品の安全性評価.
第18回日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会食品安

全フォーラム (2020.11.27)

Hiroshi Akiyama: Food safety risk management in Japan.

2nd International Conference on Preventive Medicine (2020.11.28)

穂山浩: 残留農薬等のレギュラトリーサイエンス.
公益社団法人日本食品衛生学会ブロックイベント近畿ブロック公開セミナー 食品に関するリスクコミュニケーション: 残留農薬等のリスクアナリシスについて (2020.12.18)

Hiroshi Akiyama: Japanese allergy labeling Regulations, Use of Detection Methods in Japan and Regulatory Threshold Approaches.

The University of Manchester Food Allergy Network Meeting (MFAN) (2021.1.21)

永山敏廣*¹, 望月直樹*², 三宅司郎*³, 中川博之*⁴, 下地一彦*⁵, 小島尚*⁶, 高取聡*⁷, 高野伊知郎*⁸, 根本了, 水越一史*⁹, 宮下隆*¹⁰: 衛生試験法・注解 高速液体クロマトグラフィー/タンデム質量分析法 (LC/MS/MS) によるトリコテセン系カビ毒およびゼアラレノンの定性・定量および確認 (新規) ならびに酵素法によるヒスタミン測定試験 (新規).

日本薬学会第141年会 (2021.3.26)

*¹ 明治薬科大学

*² 横浜薬科大学

*³ 麻布大学

*⁴ 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

*⁵ キッコーマンバイオケミファ (株)

*⁶ 帝京科学大

*⁷ (地独) 大阪健康安全基盤研究所

*⁸ 明治薬科大学

*⁹ (一財) 日本食品分析センター

*¹⁰ キューピー (株)

中村公亮, 千葉慎司, 秋本智, 蜂須賀暁子, 穂山浩: 2019年産日本産食品を対象とした放射性核種 (セシウム, ストロニウム, プルトニウム) の濃度測定と諸外国が設定したその基準値との比較.

日本薬学会第141年会 (2021.3.26)

佐藤恭子, 佐々木隆宏*¹, 櫻井光*², 下山晃*³, 関戸晴子*⁴, 多田敦子, 寺見祥子, 田原正一*¹, 原貴彦*⁵, 伊

藤拓土^{*5}, 山本信次^{*6}, 吉田美佳^{*7}: 食品添加物試験法
ジアゾ化法による亜硝酸の定量.
日本薬学会第141年会 (2021.3.28)

-
- *1 東京都健康安全研究センター
 - *2 横浜市衛生研究所
 - *3 (一財) 日本食品検査
 - *4 神奈川県衛生研究所
 - *5 (一財) 食品環境検査協会
 - *6 (一財) 東京顕微鏡院
 - *7 (一財) 日本食品分析センター

多田敦子, 日置冬子, 石附京子, 久保田浩樹, 建部千絵,
杉本直樹, 佐藤恭子: 食品添加物 *dl*- α -トコフェロール
の色調と純度について.
日本食品化学学会第26回総会・学術大会 (2020.8.31)

多田敦子, 堀江正一^{*1}, 内山陽介^{*2}, 吉田裕一^{*3}, 小林
千種^{*4}, 杉浦潤^{*5}, 中島安基江^{*6}, 池野恵美^{*7}, 久保田
浩樹, 建部千絵, 寺見祥子, 長谷川久美, 杉本直樹, 佐
藤恭子: 食品中の食品添加物分析法改正に向けた検討
(令和元年度).
第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

-
- *1 大妻女子大学家政学部
 - *2 神奈川県衛生研究所
 - *3 川崎市健康安全研究所
 - *4 東京都健康安全研究センター
 - *5 名古屋市衛生研究所
 - *6 広島県立総合技術研究所保健環境センター
 - *7 横浜市衛生研究所

建部千絵, 藤原由美子, 久保田浩樹, 多田敦子, 佐藤恭
子: LC-MS/MSによるタール色素中の未反応原料及び
反応中間体並びに副成色素の分析法の検討.
日本食品化学学会第26回総会・学術大会 (2020.8.31)

久保田浩樹, 村越早織^{*1}, 根岸真奈美^{*2}, 佐藤睦実^{*2},
関根百合子^{*2}, 原田利栄^{*3}, 鶴岡則子^{*3}, 杉本幹雄^{*4},
田原正一^{*4}, 紙本佳奈^{*5}, 安永恵^{*5}, 中島安基江^{*6}, 井
原紗弥香^{*6}, 竹下智章^{*7}, 小川尚孝^{*7}, 當間一晃^{*8}, 古
謝あゆ子^{*8}, 恵飛須則明^{*8}, 寺見祥子, 長谷川久美, 建
部千絵, 長尾なぎさ, 古庄紀子, 多田敦子, 佐藤恭子:
令和元年度マーケットバスケット方式による甘味料の一
日摂取量調査.
第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

- *1 札幌市衛生研究所
- *2 仙台市衛生研究所
- *3 千葉県衛生研究所
- *4 東京都健康安全研究センター
- *5 香川県環境保健研究センター
- *6 広島県立総合技術研究所保健環境センター
- *7 長崎市保健環境試験所
- *8 沖縄県衛生環境研究所

建部千絵, 石附京子, 窪崎敦隆, 久保田浩樹, 杉本直樹,
多田敦子, 佐藤恭子: 固体NMRを用いた食品添加物の
確認試験法の検討.
第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

寺見祥子, 多田敦子, 増本直子, 中島馨, 建部千絵, 久
保田浩樹, 佐藤恭子: 食品添加物公定書一般試験法に関
する研究—ステビオール配糖体のLC-MSによる分析法
の検討—.
第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

日置冬子, 多田敦子, 古庄紀子, 建部千絵, 久保田浩樹,
佐藤恭子: プシコースエピメラーゼの規格試験法の検討.
第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

西崎雄三, 石附京子, 増本直子, 杉本直樹, 佐藤恭子:
精油除去ウイキョウ抽出物の成分規格作成に向けた基礎
的検討.
日本食品化学学会第26回総会・学術大会 (2020.8.31)

西崎雄三, 石附京子, 中島馨, 増本直子, 末松孝子*,
杉本直樹, 佐藤恭子: 外部標準qNMRの自動化スクリプ
トの作成.
第2回日本定量NMR研究会年会 (2020.12.4)

* 株式会社 JEOL RESONANCE

石附京子, 建部千絵, 西崎雄三, 窪崎敦隆, 多田敦子,
杉本直樹, 佐藤恭子: ¹³C-CP/MASを用いた食品添加物
キトサンの脱アセチル化度の測定.
第2回日本定量NMR研究会年会 (2020.12.4)

中島馨, 増本直子, 西崎雄三, 石附京子, 杉本直樹, 佐
藤恭子: 既存添加物「カラシ抽出物」および「セイヨウ
ワサビ抽出物」に含まれるイソチアン酸アリル定量法の
改良.
日本食品化学学会第26回総会・学術大会 (2020.8.31)

寺澤陸^{*1}, 本多亘^{*1}, 榊原みなみ^{*1}, 長谷川文哉^{*1}, 豊島智三^{*1}, 石田康行^{*1}, 堤内要^{*1}, 猪飼誉友^{*1}, 石橋諒^{*2}, 古屋浩太^{*2}, 森本隆司^{*2}, 石附京子, 西崎雄三, 増本直子, 杉本直樹, 佐藤恭子, 岡尚男^{*3}: 固体NMRと熱分解GC-MSを用いたクチナシ青色素の構造解析.

日本食品化学学会第26回総会・学術大会 (2020.8.31)

^{*1} 中部大学応用生物学部

^{*2} 三栄源エフ・エフ・アイ

^{*3} フジパングループ本社研究室

高橋未来^{*}, 高木映里^{*}, 西崎雄三, 杉本直樹, 佐藤恭子, 井之上浩一^{*}: シングルリファレンスHPLCによるクルクミン類の定量法の検討.

第2回日本定量NMR研究会年会 (2020.12.4)

^{*} 立命館大学

坂口裕子^{*1}, 高橋未来^{*1}, 西崎雄三, 高木映里^{*1}, 橋本誠^{*2}, 杉本直樹, 佐藤恭子, 井之上浩一^{*1}, 一川暢宏^{*1}: 相対モル感度に基づくカルバマゼピンとフェニトインのシングルリファレンス HPLC 定量法の構築と基礎検討. 日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

^{*1} 立命館大学大学院薬学研究科

^{*2} 日立ハイテクサイエンス

片岡洋平, 阿部智之^{*}, 阿部裕, 安藤景子^{*}, 石原絹代^{*}, 牛山温子^{*}, 内山陽介^{*}, 大野浩之^{*}, 木村亜莉沙^{*}, 小林尚^{*}, 佐々木達也^{*}, 佐藤環^{*}, 高橋良幸^{*}, 武田勝久^{*}, 田中葵^{*}, 棚橋高志^{*}, 谷拓哉^{*}, 永井慎一郎^{*}, 中西徹^{*}, 野村千枝^{*}, 八田淳司^{*}, 早川雅人^{*}, 六鹿元雄, 山田恭平^{*}, 吉川光英^{*}, 四柳道代, 渡辺一成^{*}, 佐藤恭子: 器具・容器包装におけるビスフェノール A 溶出試験の室間共同試験.

日本食品化学学会第26回総会・学術大会 (2020.8.31)

^{*} 試験機関, 衛生研究所等

水口智晴^{*1}, 尾崎麻子^{*1}, 岸映里^{*1}, 浅川大地^{*2}, 阿部裕, 山口未来, 山口之彦^{*1}, 山野哲夫^{*1}, 六鹿元雄: 長期保存食品に用いる器具・容器包装の溶出試験における加速試験条件の検証.

第116回日本食品衛生学会学術講演会 (2020.11.24)

^{*1} (地独) 大阪健康安全基盤研究所

^{*2} 大阪市立環境科学研究センター

尾崎麻子^{*1}, 岸映里^{*1}, 水口智晴^{*1}, 浅川大地^{*2}, 阿部裕, 山口未来, 阿部智之^{*3}, 中西徹^{*4}, 渡辺一成^{*5}, 山口之彦^{*1}, 山野哲夫^{*1}, 六鹿元雄: シミュレーションソフトを用いた合成樹脂製器具・容器包装の溶出量予測と実測値の比較.

第4回日本食品衛生学会近畿地区勉強会 (2020.11)

^{*1} (地独) 大阪健康安全基盤研究所

^{*2} 大阪市立環境科学研究センター

^{*3} (公社) 日本食品衛生協会

^{*4} (一財) 日本食品分析センター

^{*5} (一財) 化学研究評価機構

山本詩織, 長谷川めぐみ^{*}, 岩淵絵里子^{*}, 朝倉宏: 低温環境下における *Listeria monocytogenes* のバイオフィルム特性.

第34回日本バイオフィルム学会学術集会 (2020.8.29)

^{*} 天使大学

渡辺愛^{*}, Amalia Rizky^{*}, 御堂梨香子^{*}, 岡田由美子, 鈴木穂高^{*}: 牛乳の微生物検査における公定法, ISO法, 簡易法の比較.

第163回日本獣医学会 (2020.9.14)

^{*} 茨城大学

米満研三, 佐々木貴正, 上間匡, 朝倉宏: 市販鶏レバーにおけるカンピロバクター汚染の定量調査.

第13回日本カンピロバクター研究会総会 (2020.10.1)

佐々木貴正, 米満研三, 上間匡, 朝倉宏: 廃鶏におけるカンピロバクター汚染と薬剤耐性.

第13回日本カンピロバクター研究会総会 (2020.10.1)

山田和弘^{*}, 續木洋一^{*}, 佐藤克彦^{*}, 朝倉宏: 市販鶏肉から分離される *Campylobacter jejuni* の血清遺伝子型分布調査.

第13回日本カンピロバクター研究会総会 (2020.10.1)

^{*} 愛知県衛生研究所

中村寛海^{*}, 秋吉充子^{*}, 後藤薫^{*}, 柴川紗恵子^{*}, 朝倉宏, 小笠原準^{*}: 輸入食肉からのカンピロバクター, サルモネラおよび腸管出血性大腸菌の検出とこれらを評価するための衛生指標菌について.

第13回日本カンピロバクター研究会総会 (2020.10.1)

* 大阪健康安全基盤研究所

熊谷優子*, 窪田邦宏, 朝倉宏: カンピロバクター食中毒の食品寄与率に関する研究.

第13回日本カンピロバクター研究会総会 (2020.10.1)

* 和洋女子大学

渡部百合*, 関口幸恵*, 内田和之*, 朝倉宏: *Campylobacter* 定量試験における自動生菌数測定装置 TEMPOとmCCDA 培地との比較.

第13回日本カンピロバクター研究会総会 (2020.10.1)

* ビオメリュー・ジャパン

Oshiro N, Kuniyoshi K, Asakura H, Yasumoto T*: LC-MS analysis enriches surveys on ciguatera fish poisoning.

Ciguatera Poisoning in Europe: EuroCigua International Workshop (2020.10.15)

* Japan Food Research Laboratories

Asakura H, Kawase J^{*1}, Okamura M^{*2}, Yamamoto S, Chuma T^{*3}: Does *Campylobacter jejuni* paves the way for host switching from wild bird to poultry in coincidence with genomic recombination?

International Union of Microbiological Societies 2020 Annual Congresses (IUMS 2020) (2020.10.16)

^{*1} Shimane Prefectural Institute of Public Health and Environmental Science

^{*2} Kitasato University

^{*3} Kagoshima University

Yamamoto S, Okada Y, Ishii Y^{*1}, Igimi S^{*2}, Asakura H: Prevalence and genetic characterization of extended-spectrum β -lactamase-producing *Escherichia coli* from retail poultry meat in Japan.

International Union of Microbiological Societies 2020 Annual Congresses (IUMS 2020) (2020.10.16)

^{*1} Toho University

^{*2} Tokyo University of Agriculture

山本詩織, 朝倉宏: 異なる調理機器を用いた低温加熱調

理による微生物汚染低減効果の比較.

日本食品衛生学会第116回学術講演会 (2020.11.24)

佐々木貴正, 上間匡, 百瀬愛佳, 浅井鉄夫*, 朝倉宏: 孵化場における第3世代セファロスポリン使用中止後のブロイラーおよび鶏肉のサルモネラ汚染状況.

日本食品衛生学会第116回学術講演会 (2020.11.24)

* 岐阜大学大学院

中山達哉, 久米田裕子^{*1}, 河原隆二^{*2}, 山本容正^{*3}: ベトナムにおける料理を汚染している基質特異性拡張型 β ラクタマーゼ産生菌及びヒト腸内細菌叢への影響に関する研究.

日本食品衛生学会第116回学術講演会 (2020.11.24)

^{*1} 大阪府立大学

^{*2} 大阪健康安全基盤研究所

^{*3} 岐阜大学

國吉杏子, 大城直雅, 朝倉宏: LC-MS/MSによるフグ加工製品のテトロドトキシン分析.

日本食品衛生学会第116回学術講演会 (2020.11.24)

上間匡, 米満研三, 百瀬愛佳, 石井良和*, 館田一博*, 井上貴雄, 朝倉宏: 可視光応答型光触媒による新型コロナウイルスの不活化効果に関する検討.

日本食品衛生学会第116回学術講演会 (2020.11.24)

* 東邦大学医学部

Leonardo S^{*1}, Tsumuraya T^{*2}, Oshiro N, HIRAMA M^{*2}, Diogène J^{*1}, Campàs M^{*1}: Smartphone-based electrochemical immunosensor for ciguatoxins detection.

1st International Electronic Conference on Toxins (2021.1.16)

^{*1} Institut de Recerca i Tecnologies Agroalimentàries (IRTA)

^{*2} Graduate School of Science, Osaka Prefecture University

金山敦宏^{*1}, 上間匡, Matthew Griffith^{*2}, 加來浩器^{*1}, 窪田邦宏, 神谷元^{*2}, 谷口清州^{*3}, 砂川富正^{*2}: 学校給食施設のノロウイルス検査に関するアンケート調査研究.

第32回日本臨床微生物学会学術集会 (2021.1.29)

- *¹ 防衛医科大学校
 *² 国立感染症研究所
 *³ 国立病院機構三重病院

坂上亜希恵^{*1}, 神尾彩楓^{*1}, 佐々木美江^{*1}, 植木洋^{*1}, 高木弘隆^{*2}, 岡智一郎^{*2}, 上間匡: 可視光応答型光触媒による新型コロナウイルスの不活化効果に関する検討.

第55回日本水環境学会年会 (2021.3.10)

- *¹ 東邦大学医学部
 *² 国立感染症研究所

岡田由美子, 中山達哉, 大竹正悟^{*1}, 笠井正志^{*1}, 鈴木穂高^{*2}, 荻原博和^{*3}, Stephen James Forsythe^{*4}: 国内で分離されたクロノバクター属菌の病原遺伝子保有状況及び薬剤耐性.

第94回日本細菌学会 (2021.3.23)

- *¹ 兵庫県立こども病院
 *² 茨城大学
 *³ 日本大学
 *⁴ foodmicrobe.com

山本詩織, 中山達哉, 町田李香, 朝倉宏: 国内の市販鶏肉におけるESBL産生大腸菌の定性的・定量的評価.

第94回日本細菌学会総会 (2021.3.25)

池内隼佑*, BuiThi Hien*, 佐々悠木子*, 仁和岳史*, 工藤由起子, 林谷秀樹*: 病原性*Yersinia*のMultiplex Real-time PCRによる迅速検出法の開発.

第163回日本獣医学会学術総会 (2020.9.14)

- * 東京農工大学

Bui Thi Hien*, 池内隼佑*, 佐々悠木子*, 仁和岳史*, 工藤由起子, 林谷秀樹*: 病原性*Yersinia*のMultiplex PCRによる迅速検出法の開発.

第163回日本獣医学会学術総会 (2020.9.14)

- * 東京農工大学

豊田淑江*, 林克彦, 内田恵理子, 工藤由起子, 山口照英*: 細胞治療を目的とするMyeloid angiogenic cell (MAC) 及びCD133由来MMP-9陽性細胞における免疫抑制性の検討.

第93回日本生化学会大会 (2020.9.14)

- * 日本薬科大学

渡辺麻衣子: 震災後の室内環境における真菌汚染と真菌症. イブニングセミナー2 災害時の感染症・災害時の臨床検査.

第64回日本医真菌学会総会・学術集会 (2020.10.9)

青木渉^{*1,2}, 渡辺麻衣子, 渡邊雅樹^{*1}, 小林直樹^{*1}, 寺嶋淳^{*3}, 小西良子^{*1}, 近藤一成, 工藤由起子: CO1遺伝子塩基配列における挿入/欠失パターンおよび系統解析に基づく日本国内に分布する*Entoloma sarcopum*とその近縁種の食用および毒キノコの識別.

日本食品衛生学会第116回学術講演会 (2020.11.24)

- *¹ 麻布大学
 *² 信州大学
 *³ 岩手大学

林克彦, 酒井瑤実*, 遠藤晴香*, 永嶋玲美*, 鈴木俊宏*, 工藤由起子: 日本薬局方マイコプラズマ否定試験の核酸増幅法 (NAT) に用いる高品質参照品の調製法に関する研究.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

- * 明治薬科大学

吉成知也, 小杉正樹^{*1}, 佐藤英子^{*2}, 下山晃^{*3}, 竹内浩^{*4}, 谷口賢^{*5}, 福光徹^{*6}, 藤吉智治^{*7}, 森田剛史^{*8}, 大西貴弘, 工藤由起子: 食品中の4,15-ジアセトキシシルベノールの分析法の検討及び汚染実態調査.

第56回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

- *¹ (一財) 日本食品分析センター

- *² 川崎市健康安全研究所

- *³ (一財) 日本食品検査

- *⁴ 三重県保健環境研究所

- *⁵ 名古屋市衛生研究所

- *⁶ 神奈川県衛生研究所

- *⁷ (一財) 食品分析開発センター SUNATEC

- *⁸ (一財) 日本穀物検定協会

吉成知也: 厚生労働省における食品中のマイコトキシンの規制と公定法.

日本マイコトキシン学会第86回学術講演会 (2021.1.8)

林克彦, 工藤由起子: バルク原料変更後の日本薬局方エンドトキシン標準品のロット間変動評価.
日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

渡辺麻衣子: 東日本大震災水害被災地の住環境における真菌調査. 環境・衛生部会衛生試験法シンポジウム: 微生物検査による食品・環境衛生管理の新展開.
日本薬学会第141年会 (2021.3.29)

三澤隆史, 照井龍晟, 槇島誠^{*1}, 須原義智^{*2}, 出水庸介: 新規TGR 5リガンドの開発.
日本ビタミン学会第72回大会 (2020.6.20)

^{*1} 日本大学医学部

^{*2} 芝浦工業大学システム理工学部生命科学科

斎藤嘉朗, 出水庸介: 非天然型構造を有するペプチド医薬品の非臨床評価の方向性.
第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

池田健太郎, 柳瀬雄太, 辻巖一郎, 林克彦, 工藤(原)由起子, 出水庸介: c-di-GMP誘導体の合成とバイオフィルム形成阻害評価.
第34回日本バイオフィルム学会学術集会 (2020.8.28)

斎藤嘉朗, 出水庸介: 中分子ペプチド医薬品の非臨床安全性評価における留意点.
第10回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2020.9.14)

横尾英知, 柴田識人, 永沼美弥子, 伊藤貴仁, 内藤幹彦, 有竹浩介^{*}, 出水庸介: 造血器型プロスタグランジン合成酵素を標的とした分解誘導剤の開発.
第64回日本薬学会関東支部大会 (2020.9.19)

^{*} 第一薬科大学

今田敦之^{*}, 水石彩菜^{*}, 紺野奇重^{*}, 三澤隆史, 出水庸介, 栗原正明^{*}, 藤井幹雄^{*}: 抗アデノウイルス活性を期待した炭素環2'-デオキシ炭素環7-デアザアデノシンの合成.
第64回日本薬学会関東支部大会 (2020.9.19)

^{*} 国際医療大学薬学部

石綱遥^{*}, 斎藤智亜季^{*}, 紺野奇重^{*}, 三澤隆史, 出水庸介, 栗原正明, 藤井幹雄^{*}: 抗アデノウイルス活性を期

待した炭素環2'-デオキシ炭素環ピリミジンヌクレオシドの合成.
第64回日本薬学会関東支部大会 (2020.9.19)

^{*} 国際医療大学薬学部

政田さやか, 遊佐仁暁, 辻巖一郎, 横尾英知, 細江潤子, 新井玲子, 田中誠司, 出水庸介, 袴塚高志, 合田幸広, 内山奈穂子: プエラリア・ミリフィカ由来kwakhurinの形式全合成と相対モル感度係数を利用したプエラリア・ミリフィカ含有食品中のmiroestrolの定量.
第62回天然有機化合物討論会 (2020.9.23)

Abe Y, Yamamoto E, Yoshida Y, Masada S, Yokoo H, Tsuji G, Uchiyama N, Hakamatsuka T, Demizu Y, Izutsu K, Goda Y, Okuda H: Temperature-dependent formation of *N*-nitrosodimethylamine (NDMA) during the storage of ranitidine reagent powders and tablets. *AAPS 2020 PHARMSCI 360* (2020.10.17)

平野元春, 後藤千尋, 三澤隆史, 出水庸介: Development of antimicrobial peptide foldamers based on Magainin 2 sequence.
第57回ペプチド討論会 (2020.11.9)

三澤隆史, 平野元春, 横尾英知, 出水庸介: Development of post-functionalizable antimicrobial peptide foldamers.
第57回ペプチド討論会 (2020.11.9)

佐藤友海, 田京茉実, 三澤隆史, 石田寛明^{*}, 山本恵子^{*}, 出水庸介: Development of stapled peptides against inhibiting VDR-coactivator interaction.
第57回ペプチド討論会 (2020.11.9)

^{*} 昭和薬科大学薬学部

大岡伸通, 横尾英知, 内藤幹彦, 井上貴雄, 出水庸介: 非天然型アミノ酸を有するヘリカルペプチドを利用したタンパク質分解誘導キメラ分子の開発.
第43回日本分子生物学会年会 (2020.12.2)

辻巖一郎, 伊藤貴仁, 内山奈穂子, 細江潤子, 合田幸広, 出水庸介: 国際調和に向けた日本薬局方の医薬品各条における試験法の改定に関する検討: qNMRを利用した類縁物質の純度決定.

第2回日本定量NMR研究会年会 (2020.12.4)

水野美麗*, 森一憲*, 土屋圭輔*, 高木孝士*, 三澤隆史, 出水庸介, 柴沼質子*, 福原潔*: シリビニンの高機能化を目指した創薬研究.

日本農芸化学会2021年度大会 (2021.3.18)

* 昭和大学薬学部

森谷俊介*¹, 桑田啓子*², 今村保忠*³, 出水庸介, 栗原正明*⁴, 橘高敦史*¹, 杉山亨*¹: カチオン性グアニンアナログを導入したペプチド核酸オリゴマーによるストランドインベーションの検討.

日本薬学会第141回年会 (2021.3.27)

*¹ 帝京大学薬学部

*² 名古屋大学ITbM

*³ 工学院大学

*⁴ 国際医療大学薬学部

大岡伸通, 横尾英知, 井上貴雄, 出水庸介: ペプチドリガンドを利用したタンパク質分解誘導キメラ分子の開発.

日本薬学会第141回年会 (2021.3.27)

柳瀬雄太, 池田健太郎, 辻巖一郎, 柴田識人, 内藤幹彦, 出水庸介: 免疫系制御を指向した新規STINGリガンドの効率的探索.

日本薬学会第141回年会 (2021.3.27)

辻巖一郎, 池田健太郎, 柳瀬雄太, 林克彦, 工藤由起子, 出水庸介: アミン骨格を有するc-di-GMP誘導体の合成とバイオフィーム形成阻害評価.

日本薬学会第141回年会 (2021.3.27)

平野元春, 齋藤千尋*, 後藤千尋, 川野竜司*, 三澤隆史, 出水庸介: 両親媒性抗菌ペプチドフォルダマーの合理的設計.

日本薬学会第141回年会 (2021.3.27)

* 東京農工大工学研究院

永沼美弥子*¹, 辻村はるな*², 大岡伸通, 松野研司*¹, 須原義智*², 内藤幹彦, 井上貴雄, 辻巖一郎, 出水庸介: デコイ核酸をリガンドとしたエストロゲン受容体分解誘導剤の創製.

日本薬学会第141回年会 (2021.3.28)

*¹ 工学院大学先進工学部生命化学科

*² 芝浦工業大学システム理工学部生命科学科

田京茉実, 佐藤友海, 石田寛明*, 山本恵子*, 三澤隆史, 出水庸介: 非天然アミノ酸含有ヘリカルペプチドによるVDR-コアクチベータ相互作用阻害剤の創製.

日本薬学会第141回年会 (2021.3.28)

* 昭和薬科大学薬学部

荒井慎之介*, 齋藤智亜季*, 水石彩葉*, 三澤隆史, 出水庸介, 栗原正明*, 紺野奇重*: 抗アデノウイルス活性を期待した2'-デオキシ炭素環ヌクレオシドの合成.

日本薬学会第141回年会 (2021.3.28)

* 国際医療福祉大学薬学部

横尾英知, 柴田識人, 永沼美弥子, 村上優希, 藤井清永*, 伊藤貴仁, 有竹浩介*, 内藤幹彦, 出水庸介: 造血器型プロスタグランジン合成酵素を標的とした分解誘導剤の開発.

日本薬学会第141回年会 (2021.3.28)

* 第一薬科大学

土屋圭輔, 梅野智大*¹, 辻巖一郎, 横尾英知, 福原潔*², 三澤隆史, 出水庸介: 光異性化に基づくエストロゲン受容体の活性制御.

日本薬学会第141回年会 (2021.3.29)

*¹ 昭和薬科大学大学院

*² 昭和大学薬学部

三澤隆史, 照井龍晟, 柳瀬雄太, 横尾英知, 槇島誠*¹, 須原義智*², 出水庸介: 5,6,7,8-Tetrahydronaphthalene骨格を用いた選択的TGR5アゴニストの開発.

日本薬学会第141回年会 (2021.3.29)

*¹ 日本大学医学部

*² 芝浦工業大学

辻村はるな*¹, 永沼美弥子*², 大岡伸通, 須原義智*¹, 松野研司*², 内藤幹彦, 井上貴雄, 辻巖一郎, 出水庸介: アプタマーをリガンドとしたエストロゲン受容体分解誘導剤の創製.

日本薬学会第141回年会 (2021.3.29)

*¹ 芝浦工業大学システム理工学部生命科学科

*² 工学院大学先進工学部生命化学科

許涵喬, 辻巖一郎, 大岡伸通, 内藤幹彦, 出水庸介:
LXRを標的とした分解誘導剤の開発.
日本薬学会第141回年会 (2021.3.29)

正田卓司, 河村麻衣子, 花尻(木倉)瑠理, 袴塚高志,
出水庸介: LSD類縁体MiPLAの合成とその性状解析.
日本薬学会第141回年会 (2021.3.29)

伊藤貴仁, 横尾英知, 大岡伸通, 内藤幹彦, 井上貴雄,
出水庸介: 核内受容体を標的とするペプチド型分解誘導
剤の開発.
日本薬学会第141回年会 (2021.3.29)

中村公亮, 木俣真弥, 成島純平, 志波優^{*1}, 秋本智, 曾
我慶介, 権藤崇裕^{*2}, 明石良^{*2}, 近藤一成: ゲノム編集
食品に残留する意図せざるDNA切断の予測・検出法の
評価 (第2報).
日本食品化学学会第26回総会・学術大会 (2020.5.28)

*¹ 東京農業大学

*² 宮崎大学

最上(西巻)知子, 崔紅艶, 曾我慶介, 爲廣紀正, 安達
玲子, 蜂須賀暁子, 広瀬明彦, 近藤一成: 多層カーボン
ナノチューブによるIL-1 β 産生を抑制する化合物の同
定.
第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

早川英介, 渡邊寛, 近藤一成: 質量スペクトルネットワー
クを用いたデータ解析フレームワークによる未知化合物
分析.
第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

曾我慶介, 近藤一成, 蜂須賀暁子: 食品中の天然放射性
核種ポロニウム210の実態と文献調査.
フォーラム2020衛生薬学・環境トキシコロジー
(2020.9.4)

Tamehiro N., Adachi R., Kondo K: Functional food
ingredients modulate mast cell signaling.
JSA/WAO Joint Congress 2020 (2020.9.17)

Sugimoto M., Kamemura N., Tamehiro N., Adachi R.,
Tomonari S., Watanabe T., Mito T: Cross-allergenicity
of crustacean and the edible insect *Gryllus bimaculatus*

in patients with shrimp allergy.
JSA/WAO Joint Congress 2020 (2020.9.17)

柴田識人, 内藤幹彦*: 脱ユビキチン化によるがん特異
的融合タンパク質の安定化.
第79回日本癌学会学術総会 (2020.10.1)

* 東京大学

曾我慶介, 木俣真弥, 成島純平, 佐藤咲子^{*1}, 佐藤恵
美^{*1}, 真野潤一^{*2}, 高島令王奈^{*2}, 橘田和美^{*2}, 川上浩^{*1},
吉場聡子, 柴田識人, 穂山浩, 中村公亮, 近藤一成: 新
しい遺伝子組換え表示の妥当性を確保するための外国産
遺伝子組換え不十分大豆の流通実態調査.
第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

*¹ 共立女子大学

*² 農研機構

成島純平, 吉場聡子, 曾我慶介, 高島令王奈*, 橘田和
美*, 中村公亮, 柴田識人, 近藤一成: 安全性未審査
の遺伝子組換えコムギ (MON71400, MON71500及び
MON71600) を対象とした系統個別検知法の評価.
第57回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9)

* 農研機構

曾我慶介, 吉田光範*, 坂田こずえ, 近藤一成: ナノボ
アシーケンス技術を用いた致死性有毒キノコ *Amanita
virosa* のゲノムアセンブリの検討.
第43回日本分子生物学会年会 (2020.12.2)

* 国立感染症研究所

近藤一成, 坂田こずえ, 曾我慶介, 菅野陽平^{*1}, 佐藤正
幸^{*1}, 福多賢太郎^{*2}, 豊田敦^{*3}, 野口英樹^{*2,3}: *Amanita
virosa* のゲノム解析と遺伝子アノテーション.
第43回日本分子生物学会年会 (2020.12.2)

*¹ 北海道立衛生研究所

*² データサイエンス共同利用基盤施設

*³ 国立遺伝学研究所

爲廣紀正, 後藤健仁, 吉田拓未, 花田博幸, 佐久間拓斗,
安達玲子, 竹内一郎, 近藤一成: 食の安全性確保に向け
たアレルゲン性予測機械学習モデルの開発.
第43回日本分子生物学会年会 (2020.12.2)

成島純平, 中村公亮, 木俣真弥, 志波優^{*1}, 秋本智, 曾我慶介, 吉場聡子, 権藤崇裕^{*2}, 明石良^{*2}, 柴田識人, 近藤一成: ゲノム編集技術の食品利用におけるオフターゲット予測と解析スキームの確立.

日本農芸化学会2021年度 (2021.3.19)

^{*1} 東京農業大学

^{*2} 宮崎大学

近藤一成, 福田のぞみ, 坂田こずえ, 田口千恵, 成島純平, 曾我慶介: ヒト細胞を用いたCRISPR/CasによるDNA 2本鎖切断から生じる細胞周期特徴的変異解析.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

曾我慶介, 成島純平, 吉場聡子, 柴田識人, 近藤一成: 全ゲノム配列を用いた遺伝子変異検出におけるツール間比較.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

渡邊敬浩, 松田りえ子, 畝山智香子: 国内農薬残留検査データと海外MRLの比較.

第43回残留農薬分析研究会 (2021.11.06)

熊谷優子^{*}, 窪田邦宏, 朝倉宏: カンピロバクター食中毒の食品寄与率に関する研究

第13回日本カンピロバクター研究会総会

^{*} 和洋女子大学

熊谷優子^{*}, 窪田邦宏, 朝倉宏: 食品由来疾患の疾病負荷に関する研究

第79回日本公衆衛生学会総会2020

^{*} 和洋女子大学

南谷臣昭^{*1}, 谷口賢^{*2}, 友澤潤子^{*3}, 登田美桜: 植物性自然毒の多成分同時分析法の開発: 高等植物 (第2報). 令和2年度地方衛生研究所全国協議会 (2020.11.10)

^{*1} 岐阜県保健環境研究所

^{*2} 名古屋市衛生研究所

^{*3} 滋賀県衛生科学センター

孫雨晨, 齊藤公亮, 斎藤嘉朗: 血中エキソソームのリン脂質に着目した新規薬物性肝障害バイオマーカーの同定.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

Saito Y: Development of points to consider document on biomarker assay validation in Japan.

14th Workshop on Recent Issues in Bioanalysis (2020.6.22)

斎藤嘉朗, 出水庸介: 非天然型構造を有するペプチド医薬品の非臨床評価の方向性

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

Sai K, Aoki Y, Saito Y: Different safety reporting profiles of infliximab biosimilar from originator: Comparison among countries.

36th International Conference on Pharmacoepidemiology & Therapeutic Risk Management, (2020.9.14)

栗坂知里^{*1}, 甲斐茂美^{*2}, 小林征洋^{*3}, 堀雅之^{*4}, 中村亮介, 宮澤真紀^{*2}, 松原康策^{*4}, 秋山晴代^{*1}: 加熱・加圧処理による魚肉低アレルゲン化の検討~EXiLE法による応答性評価~.

JSA/WAO Joint Congress 2020, September 17-20, 2020, Kyoto, Japan

^{*1} 帝京平成大学

^{*2} 神奈川県衛生研究所

^{*3} 西神戸医療センター

^{*4} 東京海洋大学

青木良子, 勝田由紀子, 鈴木美佳, 佐井君江, 石井明子, 斎藤嘉朗: バイオシミラーに関する専門医へのアンケート調査 — 病院での採用・処方に関する課題の抽出.

第30回日本医療薬学会年会 (2020.10.24~11.1)

塚越絵里, 中村亮介, 大関健志^{*1}, 平山令明^{*2}, 関根章博^{*3}, 水川良子^{*4}, 塩原哲夫^{*4}, 渡辺秀晃^{*5}, 末木博彦^{*5}, 小川浩平^{*6}, 浅田秀夫^{*6}, 松永佳世子^{*7}, 新原寛之^{*8}, 山口由衣^{*9}, 相原道子^{*9}, 蒔田泰誠^{*1}, 斎藤嘉朗, 森田栄伸^{*8}: 日本人のサルファ剤による重症薬疹患者におけるHLA-A*11:01との関連.

第6回若手RSフォーラム (2020.11.7)

^{*1} 理化学研究所

^{*2} 東海大学

^{*3} 千葉大学

^{*4} 杏林大学

^{*5} 昭和大学

^{*6} 奈良県立医科大学

^{*7} 藤田医科大学

*⁸ 鳥根大学

*⁹ 横浜市立大学

金伽耶^{*1}, 堀雅之^{*1}, 栗坂知里^{*2}, 甲斐茂美^{*3}, 小林征洋^{*4}, 中村亮介, 宮澤真紀^{*3}, 秋山晴代^{*2}, 松原康策^{*1}: 加熱・加圧処理による魚肉アレルギーの変化: 魚アレルギー患者血清を用いたEXiLE法による評価.

第57回日本小児アレルギー学会学術大会 (2020/10/31-11/13)

*¹ 西神戸医療センター

*² 帝京平成大学

*³ 神奈川県衛生研究所

*⁴ 東京海洋大学

佐井君江: ISO IDMP規格の実装に向けた国際的取り組み - RWDへの活用・連携における期待と課題 -

第40回医療情報学連合大会 (2020.11.19)

孫雨晨, 新田真一郎^{*1}, 細貝龍太^{*1}, 中井恵子^{*1}, 合田竜弥^{*2}, 掛樋真彰^{*3}, 村田和之^{*4}, 山口建^{*4}, 奥菌剛^{*5}, 山根真一^{*5}, 榎木啓真^{*6}, 川端光彦^{*6}, 高原健太郎^{*7}, 佐藤心平^{*8}, 吉田徳幸, 齊藤公亮, 井上貴雄, 斎藤嘉朗: LC/MSを用いたアンチセンス医薬品のバイオアナリシス手法に関する多施設分析法バリデーション.

日本薬物動態学会第35回年会 (2020.12.1)

*¹ 株式会社LISメディエンス

*² 第一三共株式会社

*³ 武田薬品工業株式会社

*⁴ 株式会社住化分析センター

*⁵ 積水メディカル株式会社

*⁶ 株式会社新日本科学

*⁷ サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

*⁸ 株式会社島津ジーエルシー

佐井君江, 佐藤嗣道^{*}, 斎藤嘉朗: レセプトデータベースを用いた医薬品の安全性評価に関する国際共同研究

第41回日本臨床薬理学会学術総会 (2020.12.3)

* 東京理科大学

齊藤公亮, 石川リカ, 松村剛^{*1}, 新井浩司^{*2}, 山内早紀^{*3}, 合田竜弥^{*4}, 立木秀尚^{*5}, 川端光彦^{*1}, 新田真一郎^{*2}, 永尾明美^{*3}, 須賀隆浩^{*4}, 内山仁^{*5}, 中井恵子^{*2}, 朝比奈幸太^{*3}, 山岡真理子^{*5}, 斎藤嘉朗: LC/MSを用いた血中高濃度低分子バイオマーカー (リゾホスファチ

ジルコリン) 分析の多施設バリデーション

第12回JBFシンポジウム (2021.3.11)

*¹ 株式会社新日本科学

*² 株式会社LSIメディエンス

*³ 日本たばこ産業株式会社

*⁴ 第一三共株式会社

*⁵ 東和薬品株式会社

斎藤嘉朗, 今任拓也, 塚越絵里, 荒川憲昭, 中村亮介: 医薬品による重症薬疹, 間質性肺炎の発症機序

第3回毒性機序研究会 (2021.1.14)

斎藤嘉朗: 医薬品開発ツールとしてのバイオマーカーの分析法バリデーションと実試料分析に関する留意点文書の作成について

第12回JBFシンポジウム (2021.3.9)

斎藤嘉朗: 非天然型構造を有する中分子ペプチドの薬物動態に関する留意点

第12回JBFシンポジウム (2021.3.11)

斎藤嘉朗, 今任拓也, 太田正穂^{*}, 牛木淳人^{*}, 花岡正幸^{*}: 日本人における薬剤性間質性肺疾患発症と関連するHLA型の探索

日本薬学会第141年会 (2021.3.28)

* 信州大学医学部

田中庸一, 小野林太郎^{*1}, 足洗美穂^{*1}, 細谷要介^{*1}, 櫻井彩子^{*2}, 渡邊敦^{*3}, 長谷川大輔^{*1}, 斎藤嘉朗: 6-メルカプトプリン投与小児白血病患者におけるDNA中deoxythioguanosineの定量と有害事象との関連性に関する検討

日本薬学会第141年会 (2021.3.28)

*¹ 聖路加国際病院

*² 成田赤十字病院

*³ 山梨大学

Hirabayashi Y: Introduction for SLS05 "ICH Anniversary: Summary of 30 Years and Future Prospects in S Area with Role of Japan".

17th DIA Japan Annual Meeting 2020 (2020.11.8)

Hirabayashi Y: Toxicological mechanism of hematopoietic disorders.

XVI Latin-American Toxicology and Chemical Safety
ALATOX Congress (2020.11.17)

Hirabayashi Y: Radiation-induced late effects and senescence: their synergistic effects on cell-cycle related gene-expressions in the hematopoietic stem/progenitor cells.

XVI Latin-American Toxicology and Chemical Safety
ALATOX Congress (2020.11.20)

小野竜一：ゲノム編集におけるオンターゲットリスクと遺伝子水平伝搬

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

高橋祐次, 種村健太郎*, 相崎健一, 北嶋聡：急性毒性試験の近代化によるテトロドトキシンの中枢影響評価
第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

* 東北大学

種村健太郎*, 佐々木貴熙*, 齊藤洋克, 高橋祐次, 北嶋聡, 菅野純：発達期マウスへのドーモイ酸投与による成熟後の神経行動毒性発現～海産毒による異常誘発モデルとしての検討2～

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

* 東北大学

齊藤洋克, 原健士朗*¹, 富永貴志*², 中島欽一*³, 北嶋聡, 菅野純, 種村健太郎*¹：低用量ベルメトリンの早期慢性ばく露による成熟後の雄マウス行動影響

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

*¹ 東北大学

*² 徳島文理大学

*³ 九州大学

横田理, 白幡卓也*, 関根尚*, 押尾茂*：ビタミンA過剰による恒常性破綻に基づく肝毒性・精巣毒性

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

* 奥羽大学薬学部

三浦伸彦*¹, 大谷勝己*², 横田理, 吉岡弘毅*³：概日リズム攪乱による雄性生殖機能障害

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

*¹ 横浜薬科薬学部

*² 労働安全衛生総合研究所

*³ テキサス大・ヒューストン医療科学センター

前野愛*¹, 北條幹*¹, 坂本義光*¹, 湯澤勝廣*¹, 長谷川悠子*¹, 久保喜一*¹, 長澤明道*¹, 安藤弘*¹, 田中和良*¹, 海鋒藤文*¹, 生嶋清美*¹, 山本行男*¹, 鈴木俊也*¹, 猪又明子*¹, 守安貴子*¹, 高橋祐次, 横田理, 小林憲弘, 広瀬明彦, 中江大*²：ラットによる多層カーボンナノチューブ (MWCNT) の長期気管内反復投与試験：1年経過時点における報告

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

*¹ 東京都健康安全研究センター

Igarashi T, Yasuhiko Y, Ono R, Tachihara E, Takahashi Y, Kuwagata M, Kitajima S: CRISPR/Cas9-mediated genome editing of mouse zygotes induces diverse on-target unintentional mutations.

The 47th Annual Meeting of the Japanese Society of Toxicology (2020.6.29)

小野竜一, 相崎健一, 北嶋聡, 菅野純：化学物質の反復投与によるゲノムワイドなヒストン修飾の変化

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.30)

大久保佑亮, 嘉本海大*, 高橋祐次, 北嶋聡, 太田裕貴*：覚醒下非拘束ラットから血中酸素飽和度・心拍数・呼吸数を計測可能なウェアラブルパルスオキシメーターの開発

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.30)

* 横浜国立大学

菅野純, 北嶋聡, 相崎健一, 小野竜一：Percellome Projectにおける精度管理とその解析への影響

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.30)

菅野聖世*, 大久保佑亮, 北嶋聡, 福田淳二*：ヒトiPS細胞を用いたシグナル経路に基づく催奇形性試験法構築への試み

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.30)

* 横浜国立大学

北嶋聡, 種村健太郎*, 菅野純：室内揮発性有機化学物質の極低濃度下における吸入曝露の際のマウス中枢神経

系への影響

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.30)

* 東北大学

種村健太郎^{*1}, 齊藤洋克, 古川佑介^{*2}, 相崎健一, 北嶋聡, 菅野純: 低用量/低濃度化学物質の発生-発達期ばく露による情動認知行動毒性~情動認知行動毒性評価系の国際標準化に向けた対応~

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.30)

^{*1} 東北大学

^{*2} 日本バイオアッセイ研究センター

Aisaki KI, Hase T*, Kitajima S, Ono R, Kitano H*, Kanno J: Current and future application of PERCELLOME database as a part of big data to toxicological research.

The 47th Annual Meeting of the Japanese Society of Toxicology (2020.7.1)

* The Systems Biology Institute

小野竜一: エクソソーム中のmiRNAをバイオマーカーとしたリキッドバイオプシー

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.7.1)

熊本隆之^{*1}, 米山紗央梨^{*1}, 橋本和樹^{*1}, 小川哲郎^{*2}, 栗形麻樹子: フルシトシンによる骨格異常の機序検討; 培養細胞を用いた評価

第60回日本先天異常学会学術集会 (2020.7.11)

^{*1} 奥羽大学

^{*2} 埼玉医科大学

栗形麻樹子: Grey Zoneのとらえ方の産業界による違い; DevToxベルリンワークショップ/JST用語委員会, 合同ワークショップ「実験動物の発生異常用語におけるベルリンワークショップとJTSの交流と最近の活動」

第60回日本先天異常学会学術集会 (2020.7.12)

栗形麻樹子: 生殖発生毒性試験へのmicro-CT導入の可能性; 胎仔骨格異常の検出へのマイクロCT活用事例からみる利点と課題

第60回日本先天異常学会学術集会 (2020.7.12)

Ono R: Identification of novel EV-associated miRNAs

as toxic biomarkers in mouse.

International Society for Extracellular Vesicles annual meeting 2020 (2020.7.22)

小野竜一: 哺乳類のレトロトランスポゾン研究から解き明かす多様な生命機能

第92回日本遺伝学会学術年会 (2020.9.17)

原唯香*, 平舘裕希*, 原健士朗*, 北嶋聡, 菅野純, 種村健太郎*: エストロジェン受容体 α 非翻訳領域遺伝子改変マウスの学習記憶不全と遺伝子発現プロファイル解析

第113回日本繁殖生物学会大会 (2020.9.25)

* 東北大学

Kanno J, Aisaki KI, Ono R, Kitajima S: Application of PERCELLOME database as a part of big data to toxicological research.

The 36th Annual Meeting of KSOT/KEMS (2020.10.2)

小野竜一: エクソソーム中のmiRNAをバイオマーカーとした毒性評価法の開発

第7回日本細胞外小胞学会学術年会 (2020.10.26)

嘉本海大*, 稲森剛*, 磯田豊*, 高橋祐次, 北嶋聡, 大久保佑亮, 太田裕貴*: 毒性試験ための小動物用ウェアラブルパルスオキシメータの開発

第11回マイクロ・ナノ工学シンポジウム (2020.10.28)

* 横浜国立大学

菅野聖世*, 大久保佑亮, 北嶋聡, 福田淳二*: ヒトiPS細胞を用いたシグナルかく乱検出による催奇形性試験法構築への試み

日本動物実験代替法学会第33回大会 (2020.11.12)

* 横浜国立大学

Taquahashi Y, Yokota S, Morita K, Tsuji M, Kuwagata M, Hojyo M*, Hirose A, Kanno J: Interim report of four-week interval intermittent inhalation study on multi-walled carbon nanotube in mice

9th Nano Conference (2020.11.12)

* Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

Ono R: A novel risk for genome editing.
XVI Latin-American Toxicology and Chemical Safety
ALATOX Congress (2020.11.19)

五十嵐智女, 安彦行人, 小野竜一, 高橋雄, 栗形麻樹子,
北嶋聡: CRISPR/Cas 9 のゲノム編集によるノックイン
マウス作製時に認められたオンターゲットの多様な非意
図的変異

日本食品衛生学会創立60周年記念第116回学術講演会
(2020.11.24)

齊藤洋克, 原健士朗*, 北嶋聡, 種村健太郎*: ビタミ
ンE欠乏給餌によるマウス雄性生殖器および精子への影
響と加齢による退行変化との類似性

日本食品衛生学会創立60周年記念第116回学術講演会
(2020.11.24)

* 東北大学

横田理, 関根尚*, 北嶋聡, 押尾茂*: ビタミンA過剰
摂取はマウスの精子形成を障害する

日本食品衛生学会創立60周年記念第116回学術講演会
(2020.11.24)

* 奥羽大学薬学部

北嶋聡: 食品トキシコゲノミクスと毒性予測
第18回食品安全フォーラム (2020.11.27)

Ono R: EV-mediated horizontal gene transfer.
The 43rd Annual Meeting of the Molecular Biology
Society of Japan (2020.12.2)

Takahashi Y, Uchiyama H*, Kitajima S: Epichordal
vertebra formation in *Xenopus laevis*: An illustration
and evolutionary insights.

The 43rd Annual Meeting of the Molecular Biology
Society of Japan (2020.12.2)

* Graduate School of NanoBioscience, Yokohama City
University (YCU)

高橋祐次, 森田紘一, 辻昌貴, 菅康佑, 相崎健一, 大久
保佑亮, 種村健太郎*, 北嶋聡: 急性毒性試験の近代化
による毒性機序研究

第3回医薬品毒性機序研究会 (2021.1.15)

* 東北大学

横田理, 関根尚*, 押尾茂*: 慢性的なビタミンA過剰
状態は, マウス精子形態異常の増悪化をひきおこす
第39回アンドロロジー学会 (2021.1.16)

* 奥羽大学薬学部

北嶋聡: シックハウス (室内空気汚染) 対策に関する研
究—極低濃度吸入曝露の際のマウス海馬Percellomeトキ
シコゲノミクスによる中枢影響予測—

令和2年度化学物質の安全管理に関するシンポジウム
(2021.2.4)

Taquahashi Y, Yokota S, Morita K, Tsuji M, Kuwagata
M, Hojyo M*, Hirose A, Kanno J: Interim report of
the 4-week-interval intermittent whole body inhalation
study on multi-walled carbon nanotube in mice
SOT 2021 Annual Meeting (2021.3.17)

* Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

横田理: 男性不妊の原因究明に資する, 新たな生殖毒性
評価の試み

第126回日本解剖学会総会・全国学術集会/第98回日本生
理学会大会 (2021.3.28)

大路佳奈*¹, 塚本佳也*¹, 赤木隆美*², 諫田泰成, 宮川
繁*², 澤芳樹*², 明石満*²: ヒトiPS細胞由来心筋細胞
を用いた三次元心筋組織体 (LbL-3D Heart) の成熟化
と心毒性評価モデルの構築.

第19回日本再生医療学会総会 (2020.5.18)

*¹ NTN株式会社

*² 大阪大学

塚本佳也*¹, 赤木隆美*², 諫田泰成, 宮川繁*², 澤芳樹*²,
明石満*²: 配向構造を有する3次元心筋組織 (LbL-3D
Heart) の構築.

第19回日本再生医療学会総会 (2020.5.18)

*¹ NTN株式会社

*² 大阪大学

田邊颯*, 上杉薫*, 諫田泰成, 森島圭祐*: iPS心筋組
織の収縮力評価システムの構築.

日本機械学会ロボティクスメカトロニクス講演会

(2020.5.27)

* 大阪大学

柳田翔太*, 佐塚文乃, 林紗代, 小野敦*, 諫田泰成:
ヒトiPS細胞由来心筋細胞の収縮能に対するチロシンキ
ナーゼ阻害剤の影響.

第142回日本薬理学会関東部会 (2020.6.6)

* 岡山大学

Kanda Y: Development of novel drug safety
assessments using human iPS cell technology.

2020 World Congress on In Vitro Biology (2020.6.7)

Kanda Y, Tsuji K, Yamada S: Development of
Alveolar Epithelial Type II Cells from Human Induced
Pluripotent Stem Cells.

International Society for Stem Cell Research 2020
Annual Meeting (2020.6.26)

諫田泰成: ヒトiPS細胞を用いた新たな神経毒性評価法
の開発と国際動向.

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

諫田泰成: ヒトiPS細胞技術を用いた抗がん剤の心毒性
評価法の開発と標準化.

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.30)

二神健^{*1}, Thomas Tiong Kwong Soon^{*1}, Christine
Lee Li Mei^{*1}, Huang YL^{*1}, 野村容子^{*2}, 諫田泰成,
吉田祥子^{*1}: 慢性グリホサート曝露による発達期小脳の
神経細胞死及びミクログリア活性.

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

*¹ 豊橋技術科学大学*² ニューヨーク市立大学

Christine Lee Li Mei^{*1}, 松房利恵^{*1}, Thomas Tiong
Kwong Soon^{*1}, Johnny Ademir Lopez^{*1}, 野村容子^{*2},
諫田泰成, 吉田祥子^{*1}: ネオニコチノイド系殺虫剤アセ
タミプリド曝露による発達期神経変性.

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

*¹ 豊橋技術科学大学*² ニューヨーク市立大学

山田茂, 常本和伸, 諫田泰成: 微小電極アレイを用いた
ヒトiPS由来神経細胞の神経毒性評価.

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.30)

山崎大樹: 人工心臓による収縮評価法の開発.

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

白川誉史^{*1,2}, 宮本憲優^{*1,3}, 石橋勇^{*1,4}, 佐藤薫, 相
川信夫^{*1,5}, 小島敦子^{*1,3,6}, 小田原あおい^{*1,4}, 柏崎広
美^{*1,7}, 小山隆志^{*1,7}, 阿部浩幸^{*1,8}, 佐治大介^{*1,8}, 田村
麻耶^{*1,9}, 加藤正巳^{*1,10}, パブラック昌子^{*1,10}, 島戸大
来^{*1,10}, 申義庚^{*1,11}, 森村馨^{*1,11}, 鈴木郁郎^{*1,4}: 微小電
極アレイシステムによる痙攣・てんかん評価法確立の試
み (第5報) —CSAHi 神経チーム.

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

*¹ ヒトiPS細胞応用安全性評価コンソーシアム (CSAHi)*² アステラス製薬株式会社*³ エーザイ株式会社*⁴ 東北工業大学*⁵ 協和キリン株式会社*⁶ 株式会社テクノプロ テクノプロ・R&D社*⁷ 大塚製薬株式会社*⁸ 日精バイリス株式会社*⁹ Axcelead Drug Discovery Partners 株式会社*¹⁰ 株式会社日本バイオリサーチセンター*¹¹ 富士フイルム株式会社

松崎典弥*, 佐藤薫: 細胞積層および沈殿培養技術によ
る組織再現と毒性試験への応用.

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.7.1)

* 大阪大学

諫田泰成: Cardio-oncology Safety Pharmacology.

第84回日本循環器学会学術総会 (2020.7.5)

北村 (中山) 貴美子, 最上 (重本) 由香里, 干川和枝,
Figarol A^{*1}, 松崎典弥^{*1}, 降幡知巳^{*2}, 石田誠一, 佐藤
薫: BBB-MPS開発における血液脳関門機能パラメーター
による既存モデルと新規開発モデルの比較研究.

第4回CBI学会若手の会 (2020.7.8)

*¹ 大阪大学*² 東京薬科大学

深井悠貴^{*1}, 溝井健太^{*1}, 松本映子^{*1}, 小山智志^{*2}, 矢

野健太郎^{*1}, 石田誠一^{*3}, 小島肇, 荻原琢男^{*1}: OECD/TGのCytochrome P450誘導試験におけるmRNA測定の有用性.

第27回HAB研究機構学術年会 (2020.9.3)

^{*1} 高崎健康福祉大学

^{*2} 理化学研究所

^{*3} 崇城大学

最上(重本)由香里, 干川和枝, 北村(中山)貴美子, 佐藤薫: 血液脳関門機能成熟におけるミクログリアの役割.

第63回日本神経化学学会大会 (2020.9.10)

佐竹繁寿^{*1}, 二神健^{*1}, Thomas Tiong Kwong Soon^{*1}, 野村容子^{*2}, 諫田泰成, 吉田祥子^{*1}: Glyphosate 急性投与と慢性投与の神経毒性効果の違い.

第63回日本神経化学学会 (2020.9.10)

^{*1} 豊橋技術科学大学

^{*2} ニューヨーク市立大学

二神健^{*1}, Thomas Tiong Kwong Soon^{*1}, Christine Lee Li Mei^{*1}, 大塚暖子^{*1}, 野村容子^{*2}, 諫田泰成, 吉田祥子^{*1}: 胎生期グリホサート曝露による遅発性神経毒性及びミクログリア活性.

第63回日本神経化学学会 (2020.9.10)

^{*1} 豊橋技術科学大学

^{*2} ニューヨーク市立大学

大塚暖子^{*}, Veloo Sharumadhi^{*}, 常本和伸, Thomas Tiong Kwong Soon^{*}, 諫田泰成, 吉田祥子^{*}: 発生期LPS神経毒性における細胞学的メカニズム.

第63回日本神経化学学会 (2020.9.10)

^{*} 豊橋技術科学大学

高橋華奈子, 中條かおり, 鈴木郁郎^{*}, 佐藤薫: ヒトiPS細胞由来神経系細胞から作成した神経回路標本におけるグルタミン酸トランスポーターの役割

第63回日本神経化学学会 (2020.9.11)

^{*} 東北工業大学

梅村清^{*1}, 岩永美咲^{*1}, 仲田しずか^{*1}, Thomas Tiong Kwong Soon^{*1}, Edo Bagus Prastika^{*1}, 小林和人^{*1},

穂積直裕^{*1}, 野村容子^{*2}, 諫田泰成, 吉田祥子^{*1}: グリホサート曝露ラット由来ミクログリアの生理的特性. 第63回日本神経化学学会 (2020.9.11)

^{*1} 豊橋技術科学大学

^{*2} ニューヨーク市立大学

Christine Lee Li Mei^{*1}, 大室拓平^{*1}, Thomas Tiong Kwong Soon^{*1}, Johnny Ademir Lopez^{*1}, 野村容子^{*2}, 諫田泰成, 吉田祥子^{*1}: 高用量のネオニコチノイド系殺虫剤アセタミプリドによるプルキンエ細胞奇形と行動異常の誘発.

第63回日本神経化学学会 (2020.9.12)

^{*1} 豊橋技術科学大学

^{*2} ニューヨーク市立大学

岩永美咲^{*}, 福島翠^{*}, 松井紗羅沙^{*}, 安達明理^{*}, 諫田泰成, 吉田祥子^{*}: 化学物質で誘発されたプルキンエ細胞の発達変化とGLAST分化の異常.

第63回日本神経化学学会 (2020.9.12)

^{*} 豊橋技術科学大学

松房利恵^{*}, 諫田泰成, 吉田祥子^{*}: CPF神経毒性のAChE誘導性検討.

第63回日本神経化学学会 (2020.9.12)

^{*} 豊橋技術科学大学

大室拓平^{*}, 宮本佳菜^{*}, Thomas Tiong Kwong Soon^{*}, 諫田泰成, 吉田祥子^{*}: 胎児期グリホサート曝露ラットにおける行動異常と腸内細菌叢変化.

第63回日本神経化学学会 (2020.9.12)

^{*} 豊橋技術科学大学

Kato E^{*1}, Hinata Y^{*2}, Kagawa Y^{*2}, Kubo H^{*2}, Taniguchi T^{*3}, Yoshinaga T^{*3}, Baba A^{*1}, Ikegaya Y^{*1}, Kanda Y, Sawada K^{*1}: Evaluation of Acute and Long-Term Drug Effects on Contractility at 1 Hz Electrical Pacing with Human Induced Pluripotent Stem Cell-Derived Cardiac Cell Sheet Tissues.

Safety Pharmacology Society 2020 annual meeting (2020.10.27)

^{*1} University of Tokyo

*² NIHON KOHDEN

*³ Eisai Co., Ltd.

Yanagida S*, Satsuka A, Hayashi S, Ono A*, Kanda Y: Effect of Hydroxychloroquine on Proarrhythmia Risk Assessment Using Human iPSC-derived Cardiomyocytes.

Safety Pharmacology Society 2020 annual meeting (2020.10.27)

* Okayama University

諫田泰成: iPSC細胞技術を活用したCardio oncology研究. 第79回日本癌学会学術総会 (2020.10.1)

Yamada S, Tsunemoto K, Kanda Y: Neurotoxicity assessment using microelectrode array recordings in human iPSC-derived neurons.

9th American Society for Cellular and Computational Toxicology Annual Meeting (2020.10.21)

佐塚文乃, 林紗代, 柳田翔太*, 諫田泰成: 配向性プレートを用いたヒトiPSC細胞由来心筋細胞の収縮能評価. 第143回日本薬理学会関東部会 (2020.10.24)

* 岡山大学

平田尚也, 山田茂, 諫田泰成: 翻訳制御因子による乳癌幹細胞の増殖機構.

第143回日本薬理学会関東部会 (2020.10.24)

Kanda Y: Toxicity Assessment of Anti-COVID-19 Drugs.

International Society for Stem Cell Research, COVID-19 Networking Meeting (2020.10.29)

柳田翔太*, 佐塚文乃, 林紗代, 小野敦*, 諫田泰成: COVID-19治療薬の催不整脈リスク評価へのヒトiPSC細胞由来心筋細胞の利用.

第6回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2020.11.7)

* 岡山大学

山口賢彦*, 中川桃夏*, 五十嵐弦*, 坂本多穂*, 諫田泰成, 黒川洵子*: ヒトiPSC細胞由来心筋細胞の収縮機能に対する品質評価.

第6回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2020.11.7)

* 静岡県立大学

常本和伸, 山田茂, 諫田泰成: ヒトiPSC細胞を用いたマンガンの神経毒性評価.

メタルバイオサイエンス研究会2020 (2020.11.7)

柳田翔太*, 佐塚文乃, 林紗代, 小野敦*, 諫田泰成: ヒトiPSC細胞由来心筋細胞を用いたCOVID-19治療薬の心毒性評価.

日本動物代替法学会第33回大会 (2020.11.12)

* 岡山大学

柳田翔太*, 佐塚文乃, 林紗代, 小野敦*, 諫田泰成: ヒトiPSC細胞由来心筋細胞を用いたCOVID-19治療薬の催不整脈リスク評価.

第250回生理学東京談話会 (2020.11.14)

* 岡山大学

諫田泰成: ヒトiPSC細胞の創薬応用~レギュラトリーサイエンスの視点から.

第14回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム (2020.11.28)

Kanda Y: Current challenge and future perspective using iPSC technology: toward 3Rs.

The 26th Frontier Scientists Workshop (2020.12.18)

Kato Y*¹, Tomokiyo D*¹, Nishiyama K*¹, Kusakabe T*¹, Kamiya N*¹, Imai Y*², Asakura H, Kanda Y, Nishida M*¹: Involvement of TRPC3-Nox2 axis in ACE2-mediated SARS-CoV-2 infection in hearts.

NIPS International Meeting on Cardiovascular Physiology 2020 (2020.12.24)

*¹ Kyusyu University

*² National Institute of Biomedical Innovation

諫田泰成: ヒトiPSC細胞技術を活用した新たな薬理試験法の開発.

日本学術会議公開シンポジウム「創薬を加速させる革新的な細胞・臓器・個体モデル」(2021.1.18)

Kanda Y: Evaluation of the Efficacy and Safety of Anti-COVID-19 Drugs Using iPSC Cardiomyocytes. iForum 2021 (2021.1.27)

友清大樹^{*1}, 加藤百合^{*1}, 西山和宏^{*1}, 西村明幸^{*2}, 田中智弘^{*2}, 日下部宜宏^{*1}, 神谷典穂^{*1}, 今井由美子^{*3}, 伊吹裕子^{*4}, 諫田泰成, 西田基宏: TRPC3-Nox2複合体形成を標的としたCOVID-19新規治療薬の探索.

日本酸化ストレス学会東海支部第9回学術集会 (2021.2.13)

^{*1} 九州大学

^{*2} 自然科学研究機構生理学研

^{*3} 医薬基盤・健康・栄養研

^{*4} 静岡県立大学

柳田翔太*, 佐塚文乃, 林紗代, 小野敦*, 諫田泰成: ヒトiPS細胞由来心筋細胞を用いたCOVID-19治療薬の心毒性評価.

第12回日本安全性薬理学会学術年会 (2021.2.27)

* 岡山大学

諫田泰成, 朝倉宏: COVID-19治療候補薬の有効性と安全性評価.

第94回日本薬理学会年会 (2021.3.8)

山田茂, 諫田泰成: レチノイン酸はiPS由来ヒト小腸上皮のバリア機能を促進する.

第94回日本薬理学会年会 (2021.3.8)

林紗代, 佐塚文乃, 柳田翔太*, 諫田泰成: ヒトiPS細胞由来心筋細胞を用いたニコチンの慢性心毒性評価.

第94回日本薬理学会年会 (2021.3.8)

* 岡山大学

佐塚文乃, 林紗代, 柳田翔太*, 諫田泰成: 動きベクトルとインピーダンスによるヒトiPS細胞由来心筋細胞の収縮評価.

第94回日本薬理学会年会 (2021.3.8)

* 岡山大学

高橋華奈子, 中條かおり, 鈴木郁郎*, 佐藤薫: ヒトiPS細胞由来神経系細胞から作成した神経回路標本におけるグルタミン酸トランスポーター機能の確認.

第94回日本薬理学会年会 (2021.3.8)

* 東北工業大学

平田尚也, 山田茂, 諫田泰成: 翻訳制御因子を介した癌幹細胞の増殖.

第94回日本薬理学会年会 (2021.3.9)

辻嘉代子, 諫田泰成: ヒトiPS細胞からACE2を発現する気道及び肺胞上皮細胞の作製.

第94回日本薬理学会年会 (2021.3.9)

常本和伸, 山田茂, 諫田泰成: ヒトiPS細胞技術を用いたベンゾジアゼピン系薬物の統合的な安全性評価.

第94回日本薬理学会年会 (2021.3.10)

柳田翔太*, 佐塚文乃, 林紗代, 小野敦*, 諫田泰成: ヒトiPS細胞由来心筋細胞を用いたヒドロキシクロロキンの統合的な心毒性評価.

第94回日本薬理学会年会 (2021.3.10)

* 岡山大学

友清大樹^{*1}, 加藤百合^{*1}, 西山和宏^{*1}, 西村明幸^{*2}, 田中智弘^{*2}, 日下部宜宏^{*1}, 神谷典穂^{*1}, 今井由美子^{*3}, 朝倉宏, 諫田泰成, 西田基宏^{*1,2}: Covid-19感染重症化におけるACE2発現制御機構の解明及び新規治療薬の探索.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

^{*1} 九州大学

^{*2} 自然科学研究機構生理学研

^{*3} 医薬基盤・健康・栄養研

Christine Lee Li Mei^{*1}, Thomas Tiong Kwong Soon^{*1}, Johnny Lopez^{*1}, 野村容子^{*2}, 諫田泰成, 吉田祥子^{*1}: 発達期小脳におけるネオニコチノイド・アセタミプリドの急性曝露による神経毒性.

第98回日本生理学会大会 (2021.3.28)

^{*1} 豊橋技術科学大学

^{*2} ニューヨーク市立大学

Sharumadi Veloo*, 大塚暖子*, 常本和伸, Thomas Tiong Kwong Soon*, 諫田泰成, 吉田祥子*: LPS神経毒性におけるエピジェネティック変異の可能性.

第98回日本生理学会大会 (2021.3.28)

* 豊橋技術科学大学

稲川貴也^{*1}, Thomas Tiong Kwong Soon^{*1}, 二神健^{*1}, 野村容子^{*2}, 諫田泰成, 吉田祥子^{*1}: グリホサート投与ラットおよび酪酸回復モデルにおける腸内細菌叢の変化.
第98回日本生理学会大会 (2021.3.28)

^{*1} 豊橋技術科学大学

^{*2} ニューヨーク市立大学

佐竹繁寿^{*1}, 二神健^{*1}, Thomas Tiong Kwong Soon^{*1}, 野村容子^{*2}, 諫田泰成, 吉田祥子^{*1}: 低用量慢性グリホサート投与が神経発達にもたらす影響.
第98回日本生理学会大会 (2021.3.28)

^{*1} 豊橋技術科学大学

^{*2} ニューヨーク市立大学

松井紗羅沙*, 安達明理*, 岩永美咲*, 諫田泰成, 吉田祥子*: 種々のHDAC阻害剤が小脳発生に及ぼす影響.
第98回日本生理学会大会 (2021.3.28)

* 豊橋技術科学大学

最上(重本)由香里, 干川和枝, 北村(中山)貴美子, 佐藤薫: ミクログリアは血液脳関門の機能成熟を制御している.
日本薬学会第141年会 (2021.3.29)

吉田祥子^{*1}, 野村容子^{*2}, 諫田泰成: 炎症が制御する発達依存的な神経毒性発現.
第98回日本生理学会大会 (2021.3.30)

^{*1} 豊橋技術科学大学

^{*2} ニューヨーク市立大学

諫田泰成: ヒトiPS細胞技術を用いた神経毒性評価法の開発.
第98回日本生理学会大会 (2021.3.30)

中村賢志, 石井雄二, 木島綾希, 高須伸二, 能美健彦, 渋谷淳*, 小川久美子: Acetamideのラット肝発がん過程における染色体異常及びDNA損傷の関与.
第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

* 東京農工大学

小野寺博志: 毒性評価における病理学の役割.
第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

梅村隆志: レポーター遺伝子導入動物の毒性学への貢献.
第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

豊田武士, 山田貴宣, 松下幸平, 森川朋美, 小川久美子: オルトートルイジン類似構造を持つ芳香族アミンによるラット膀胱傷害および遺伝子発現解析.
第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

石井雄二, 高須伸二, 中村賢志, 木島綾希, 小川久美子, 梅村隆志: アクリルアミドのDNA付加体形成および突然変異誘発性と発がん標的臓器との関連性.
第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

松下幸平, 豊田武士, 山田貴宣, 森川朋美, 小川久美子: mRNA-microRNA統合解析を用いた腎代償性メカニズムの包括的解析.
第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

赤木純一, 横井雅幸^{*1}, 曹永晩, 岩井成憲^{*2}, 花岡文雄^{*3,4}, 菅澤薫^{*1}, 小川久美子: 鋳型鎖上の2'-デオキシグアノシンN7位グリシドアミド付加体はヒト細胞においてDNA複製を阻害し点突然変異を誘発する.
第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

^{*1} 神戸大学

^{*2} 大阪大学

^{*3} 学習院大学

^{*4} 国立遺伝学研究所

石井雄二, 高須伸二, 中村賢志, 小川久美子, 梅村隆志: *gpt delta*ラットを用いた*in vivo*変異原性試験と網羅的DNA損傷解析によるエレミシンの遺伝毒性および発がん性の検索.
日本食品化学学会第26回総会・学術大会 (2020.8.31)

並木萌香, 石井雄二, 高須伸二, 中村賢志, 小川久美子: ラットを用いた粉末モミガラの90日間反復経口投与毒性試験.
日本食品化学学会第26回総会・学術大会 (2020.8.31)

松下幸平, 豊田武士, 山田貴宣, 森川朋美, 小川久美子: 腎虚血再灌流障害モデルラットを用いた急性腎障害から

慢性腎臓病への進展メカニズムの解明.
第163回日本獣医学会学術集会 (2020.9.14)

小林琢磨^{*1}, 田島悠也^{*1}, 豊田武士, 岸本真治^{*1}, 松下幸平, 山田貴宣, 小川久美子, 渡辺賢二^{*1}, 高村岳樹^{*2}, 戸塚ゆ加里^{*3}, 若林敬二^{*1}, 三好規之^{*1}: *o*-Anisidine曝露ラット尿中代謝物の探索.
がん予防学術大会2020米子 (2020.9.15)

^{*1} 静岡県立大学

^{*2} 神奈川工科大学

^{*3} 国立がん研究センター研究所

豊田武士, 小川久美子: ラット膀胱粘膜における γ -H2AX形成を指標とした芳香族アミンの膀胱傷害性および発がん性評価.
第79回日本癌学会学術総会 (2020.10.1)

赤木純一, 豊田武士, 小川久美子: 肝発がん物質投与ラット肝細胞における γ -H2AX誘導と細胞増殖活性の相関.
第79回日本癌学会学術総会 (2020.10.1)

小林琢磨^{*1}, 田島悠也^{*1}, 豊田武士, 岸本真治^{*1}, 松下幸平, 山田貴宣, 小川久美子, 渡辺賢二^{*1}, 高村岳樹^{*2}, 戸塚ゆ加里^{*3}, 若林敬二^{*1}, 三好規之^{*1}: *o*-Anisidine曝露ラット尿中代謝物の探索.
日本環境変異原学会第49回大会 (2020.11.26)

^{*1} 静岡県立大学

^{*2} 神奈川工科大学

^{*3} 国立がん研究センター研究所

中村賢志, 石井雄二, 高須伸二, 能美健彦, 渋谷淳*, 小川久美子: 染色体異常により誘発される小核形成を介したacetamideの肝発がん機序の検討.
日本環境変異原学会第49回大会 (2020.11.26)

* 東京農工大学

石井雄二, 中村賢志, 並木萌香, 高須伸二, 小川久美子: アルケニルベンゼン化合物イソオイゲノールのマウス肝発がんにおける遺伝毒性の関与の検討.
日本環境変異原学会第49回大会 (2020.11.26)

関本征史*, 並木萌香, 樋口友里*: Bhas42 由来レポーター細胞株を用いたエストロゲン代謝物の遺伝毒性評価.

日本環境変異原学会第49回大会 (2020.11.27)

* 麻布大学

石井雄二, 中村賢志, 並木萌香, 高須伸二, 小川久美子: アルケニルベンゼン化合物イソオイゲノールのマウス肝発がん機序に関する研究.
第3回医薬品毒性機序研究会 (2021.1.14)

松下幸平: 腎障害の慢性化メカニズムに関する研究: 安全性評価への応用を目指して.
第3回医薬品毒性機序研究会 (2021.1.15)

中村賢志, 石井雄二, 高須伸二, 能美健彦, 渋谷淳*, 小川久美子: 染色体異常を起点とするacetamideの肝発がん機序の検討.
第37回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2021.1.28)

* 東京農工大学

中根冨*, 煙山紀子*, 阿部有加里*, 結城恵美*, 宇野絹子*, 小川秀治*, 佐野龍平*, 渡邊厚*, 高須伸二, 梅村隆志, 美谷島克宏*, 中江大*: マウス食餌性非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) モデルの線維化におけるSox 9の関与に関する研究.
第37回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2021.1.28)

* 東京農業大学

赤木純一, 曹永晩, 豊田武士, 水田保子, 井手鉄哉, 小川久美子: ラット肝臓標本を用いた肝発がん物質早期検出のためのバイオマーカーの探索.
第37回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2021.1.28)

高須伸二, 松本佳奈, 石井雄二, 小川久美子, 梅村隆志: 急性肝再生過程におけるON/OFF制御へのNrf2の関与.
第37回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2021.1.28)

松下幸平, 豊田武士, 山田貴宣, 森川朋美, 小川久美子: 急性腎障害から慢性腎臓病への進展におけるCD44の役割.
第37回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2021.1.28)

豊田武士, 松下幸平, 山田貴宣, 赤木純一, 森川朋美, 小川久美子: 腎発がん物質早期検出指標としての γ -H2AXの応用可能性: 用量相関性の検討.

第37回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2021.1.28)

安齋享征^{*1}, アーニ レト^{*2}, 岩田聖^{*3}, 小野寺博志, 堀川真一^{*4}: SENDの戦略的利用.

第37回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2021.1.28)

^{*1} 昭和大学

^{*2} PDSパソロジー・データシステムズ・リミテッド

^{*3} ルナパス毒性病理研究所

^{*4} グローバルSENDアライアンス

安齋享征^{*1}, 松山高明^{*1}, 岩田聖^{*2}, アーニ レト^{*3}, 高木久宜^{*4}, 小野寺博志: 研究施設で職員に新型あるいは未知のウイルス感染が発生した場合の対処方法.

第37回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2021.1.28)

^{*1} 昭和大学

^{*2} ルナパス毒性病理研究所

^{*3} PDSパソロジー・データシステムズ・リミテッド

^{*4} (株) 日本エスエルシー

山田貴宣^{*}, 原田賢吾^{*}, 豊田武士, 小川久美子, 中山千里^{*}, 田川義章^{*}, 奥山学^{*}: SDラットに認められた真性半陰陽の一例.

第37回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2021.1.28)

^{*} (株) 三和化学研究所

石井雄二: レポーター遺伝子導入動物を用いた包括的毒性試験による食品香料および香気成分の評価.

第37回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2021.1.29)

赤木純一, 曹永晩, 豊田武士, 水田保子, 小川久美子: 非臨床試験における組織標本を用いた肝発がん物質早期スクリーニングのためのバイオマーカーの探索.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

増村健一: 生殖細胞変異原性と次世代個体ゲノムへの影響.

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.7.1)

Horibata K, Takasawa H^{*1}, Taquahashi Y, Yokota S, Hamada S^{*1,2}, Honma M: *In Vivo* Genotoxicity Assessment Of Multi-Wall Carbon Nanotubes Using Lung Micronucleus Assay.

Environmental Mutagenesis and Genomics Society 51st Virtual Annual Meeting (2020.9.12)

^{*1} LSI Medience Corporation

^{*2} Bozo Research Center Inc.

Gruz P, Shimizu M^{*1}, Yamada M^{*2}, Sugiyama K, Honma M: Genotoxicity of ω -3 fatty acids from the Ames test viewpoint.

Environmental Mutagenesis and Genomics Society 51st Virtual Annual Meeting (2020.9.12)

^{*1} Tokyo Healthcare University

^{*2} National Defense Academy

清水雅富^{*1}, 台蔵彩子^{*2}, 川田憲一^{*1}, ピーターグルーズ: 脂肪酸摂取によるカルボニルストレスの調節.

第93回日本生化学会大会 (2020.9.14)

^{*1} 東京医療保健大学

^{*2} 聖徳大学

増村健一: レポーター遺伝子導入マウスとNGSを用いた生殖細胞突然変異の解析.

日本遺伝学会第92回大会 (2020.9.17)

増村健一, 安東朋子, 鶴飼明子, 藤原聖^{*}, 横瀬重雄^{*}, 高木久宜^{*}, 能美健彦, 本間正充: 遺伝子突然変異試験において高いレポーター遺伝子回収効率を実現する新規 *gpt delta* ラット.

第79回日本癌学会学術総会 (2020.10.1)

^{*} 日本エスエルシー株式会社

Suzuki A^{*}, Miyano M^{*}, Miura R^{*}, Yasui M: Potential Analysis of the Hydration Layer around the Injured DNA.

Seventeenth International Conference on Flow Dynamics (2020.10.29)

^{*} Tohoku University

古濱彩子, 杉山圭一, 本間正充: 化学物質の変異原性 *in silico* 評価の精緻化: 第2回Ames/QSAR国際チャレンジプロジェクト.

第6回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2020.11.6)

杉山圭一: OECDでDRP作成に向け議論が進む小型化

Ames試験の現状報告.

日本環境変異原学会・微生物変異原性試験研究会 第63回定例会 (2020.11.16)

増村健一: HESI GTTC annual meeting報告.

日本環境変異原学会・MMS研究会第77回定例会 (2020.11.17)

増村健一: OECDテストガイドラインのトピック: TGR試験 (TG488改訂).

日本環境変異原学会・MMS研究会第77回定例会 (2020.11.17)

安井学: TK 6細胞を用いる*in vitro*遺伝毒性評価.

日本環境変異原学会・MMS研究会第77回定例会 (2020.11.17)

増村健一, 安東朋子, 石井雄二, 杉山圭一, 本間正充: アクリルアミド投与*gpt delta*マウスを用いたDNA付加体と点突然変異の用量相関に関する研究.

日本環境変異原学会第49回大会 (2020.11.26)

堀端克良, 曹易懿^{*1}, 山田雅巳^{*2}, 増村健一, 能美健彦, 本間正充: 高等真核生物での遺伝情報発現に付随する突然変異誘発機構解析系の開発.

日本環境変異原学会第49回大会 (2020.11.26)

^{*1} 上海交通大学

^{*2} 防衛大学校

古濱彩子, 杉山圭一, 本間正充: 化学物質の変異原性*in silico*評価の精緻化: 異性体に対するAmes予測の試みと2nd Ames/QSAR International Challenge Projectの状況.

日本環境変異原学会第49回大会 (2020.11.26)

小田切瑞基^{*1}, 安井学, 本田大士^{*2}, 浦聖恵^{*1}, 佐々彰^{*1}: 化学物質が引き起こすエピゲノム変化を定量的に評価可能な“epi-TK試験”の構築.

日本環境変異原学会第49回大会 (2020.11.26)

^{*1} 千葉大学大学院理学研究院

^{*2} 技術士事務所本田バイオ技術研究所

安井学, 鶴飼明子, 本田大士^{*1}, 山田雅巳^{*2}, 鈴木孝昌: ヒト肝及びラット肝S9の比較プロテオーム解析.

日本環境変異原学会第49回大会 (2020.11.27)

^{*1} 技術士事務所本田バイオ技術研究所

^{*2} 防衛大学校

福田隆之^{*1}, 鶴飼明子, 西村諒一^{*1}, 中村真生^{*1}, 佐々彰^{*2}, 安井学: TK 6細胞を用いた*in vitro*小核試験結果におけるMGMT遺伝子発現の役割.

日本環境変異原学会第49回大会 (2020.11.27)

^{*1} 株式会社ボゾリサーチセンター

^{*2} 千葉大学大学院理学研究院

竹石歩奈^{*1}, 古樫浩之^{*1}, 小田切瑞基^{*1}, 笹沼博之^{*2}, 武田俊一^{*2}, 安井学, 本間正充, 菅澤薫^{*3}, 浦聖恵^{*1}, 佐々彰^{*1}: Tyrosyl-DNA phosphodiesterasesはDNA中のリボヌクレオチドを起因とする突然変異形成に関与する.

第44回日本分子生物学会年会 (2020.12.4)

^{*1} 千葉大学大学院理学研究院

^{*2} 京都大学大学院医学研究科

^{*3} 神戸大学バイオシグナル総合研究センター

小林春花^{*}, 東條あかり^{*}, 佐々彰^{*}, 安井学, 本間正充, 浦聖恵^{*}: 転写活性領域におけるDNA二本鎖切断修復経路の選択に果たすヒストンメチル化酵素NSD2の役割.

第44回日本分子生物学会年会 (2020.12.4)

^{*} 千葉大学大学院理学研究院

古濱彩子, 清家伸康^{*1}, 小野敦^{*2}: 農薬およびその代謝物等に対する変異原性Amesインシリコ評価.

第48回構造活性相関シンポジウム (2020.12.10)

^{*1} (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構

^{*2} 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

田邊思帆里, カデル サビーナ^{*1}, 小野竜一, カブラル オラシオ^{*2}, 青柳一彦^{*3}, 広瀬明彦, 横崎宏^{*4}, 佐々木博己^{*3}: RNAウイルス感染における分子ネットワーク及び治療薬ターゲットの探索.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27)

^{*1} ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

^{*2} 東京大学大学院工学系研究科

^{*3} 国立がん研究センター研究所

^{*4} 神戸大学大学院医学研究科

大野彰子, 沖山佳生, 広瀬明彦, 福原潔*: ニトロ多環芳香族炭化水素の構造と変異原性に関するドッキングスタディ.

日本薬学会第141年会 (2021.3.27, web開催)

* 昭和大学薬学部

Yamada T, Miura M, Kawamura T, Ushida K, Inoue K, Kuwagata M, Katsutani N, Hirose A: Constructing Developmental and Reproductive Toxicity Database of Chemicals, DART NIHS DB, for Integrated Approaches to Testing and Assessment (IATA).

2021 SOT Annual Meeting and ToxExpo (2021.3.24 Online)

Tanabe S, Quader S^{*1}, Ono R, Cabral H^{*2}, Aoyagi K^{*3}, Hirose A, E. Perkins^{*4}, Yokozaki H^{*5}, Sasaki H^{*3}: The regulatory effects in intestinal- and diffuse-type gastric cancer and RNA virus infection pathway.

The 60th Annual Meeting of the Society of Toxicology (Annual Meeting of the Society of Toxicology 2021 Virtual) (2021.3.22)

^{*1} Innovation Centre of NanoMedicine (iCONM)

^{*2} University of Tokyo

^{*3} National Cancer Center Research Institute

^{*4} USACE ERDC Environ. Lab. USA

^{*5} Kobe University of Graduate School of Medicine

Iijima K*, Nishida A*, Ohno A, Hirose A, Ashikaga T: Comparison of Sensitization Potentials between Silver Nanoparticles and Silver Ions using Monocytic Cell Line THP-1.

2021 SOT Virtual Annual Meeting (2021.3.22)

* Yokohama National University

Matsumoto M, Shigeta Y, Murata Y, Hirose N, Iso T, Hirose A: Derivation of subacute guidance values of inorganic metal contaminants controlled by the Drinking Water Quality Standards in Japan.

60th Annual Meeting of SOT (2021.3.22)

福原潔^{*1}, 中西郁夫^{*2}, 大久保敬^{*3}, 今井耕平^{*1}, 水野美麗^{*1}, 松本謙一郎^{*2}, 大野彰子: C-メチルフィセチンのラジカル消去作用.

日本農芸化学会2021年度大会 (2021.3.20, web開催)

^{*1} 昭和大学薬学部

^{*2} (独)放射線医学総合研究所

Kojima H: Current projects for systemic toxicological testings in Japan. Global Collaboration Coffee When and How We Can Stop Using Animals in Toxicology. 2021 SOT Virtual Annual Meeting (2021.3.16)

Hojo M^{*1}, Yamamoto Y^{*1}, Sakamoto Y^{*1}, Ohnuki A^{*1}, Maeno A^{*1}, Moriyasu T^{*1}, Taquahashi Y, Kanno J, Hirose A and Nakae D^{*2}: Declines in serum levels of apolipoproteins during the development of peritoneal mesothelioma by multiwalled carbon nanotube in rats. 2021 SOT Virtual Annual Meeting (2021.3.12)

^{*1} 東京都健康安全センター

^{*2} 東京農業大学

Saleh D^{*1}, Alexander TW^{*1}, T Numano^{*1}T, Ahmed MHO^{*1}, Gunasekaran S^{*1}, Alexander DB^{*1}, Abdelgied M^{*1}, El-gazzar AM^{*1}, Takase H^{*1}, Naiki-ito A^{*1}, Takashi S^{*1}, Hirose A, Ohnishi M^{*2}, Kanno J, Tsuda H^{*1}: Thin- Tangled Multi Walled Carbon Nano Tubes are carcinogenic to the rat lung after administration by intra-tracheal instillation.

2021 SOT Virtual Annual Meeting (2021.3.12)

^{*1} 名古屋市立大学大学院薬学研究科

^{*2} 日本バイオアッセイ研究センター

田邊思帆里, カデル サビーナ^{*1}, 小野竜一, カブラル オラシオ^{*2}, 青柳一彦^{*3}, 広瀬明彦, 横崎宏^{*4}, 佐々木博己^{*3}: がん幹細胞シグナルに関する分子ネットワークマッピングによる疾患治療薬ターゲットプロファイリング.

第20回日本再生医療学会総会 (2021.3.11-13)

^{*1} ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

^{*2} 東京大学大学院工学系研究科

^{*3} 国立がん研究センター研究所

^{*4} 神戸大学大学院医学研究科

田邊思帆里, カデル サビーナ^{*1}, 小野竜一, カブラル オラシオ^{*2}, 青柳一彦^{*3}, 広瀬明彦, パーキンス エド^{*4}, 横崎宏^{*5}, 佐々木博己^{*3}: びまん型及び腸型胃がんにおける酸化ストレス応答及びシグナル経路.

第94回日本薬理学会年会 (2021.3.8)

*¹ ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

*² 東京大学大学院工学系研究科

*³ 国立がん研究センター研究所

*⁴ USACE ERDC Environ. Lab. USA

*⁵ 神戸大学大学院医学研究科

Kojima H: Non-animal Alternative Toxicology and Regulatory Testing: An Update from Japan.

Virtual International Conference to Mark the Launch of the Society for Alternatives to Animal Testing in Sri Lanka (SAAT-SL) (2021.2.7)

Tanabe S, Quader S^{*1}, Ono R, Cabral H^{*2}, Aoyagi K^{*3}, Hirose A, Yokozaki H^{*4}, Sasaki H^{*3}: The roles of cell cycle and BRCA1 in the DNA damage response.

The 1st International Electronic Conference on Cancers: Exploiting Cancer Vulnerability by Targeting the DNA Damage Response (2021.2.1-14)

*¹ Innovation Centre of NanoMedicine (iCONM)

*² University of Tokyo

*³ National Cancer Center Research Institute

*⁴ Kobe University of Graduate School of Medicine

Edwards S^{*1}, Tanabe S, Krebs C^{*2}, Hogberg H^{*3}, Sørli JB^{*4}, Coecke S^{*5}, Filipovska J^{*6}, Jacobson D^{*7}, Sund J^{*5}, Garcia-Reyero N^{*8}: The mechanisms leading to ACE2 dysregulation, increased coagulation, cell death, decreased lung surfactant function, decreased alveolar membrane integrity, and cytokine release leading to epilepsy and neurodegeneration.

CIAO (Modelling the Pathogenesis of COVID-19 using the Adverse Outcome Pathway framework) Second AOP Design Workshop (2021.1.27)

*¹ GenOmics, Bioinformatics, and Translational Research Center, RTI International, United States

*² PCRMI, United States

*³ Johns Hopkins University, United States

*⁴ The National Research Centre for the Working Environment, Denmark

*⁵ Joint Research Centre, EU

*⁶ Independent, North Macedonia

*⁷ Oak Ridge National Laboratory, United States

*⁸ U.S. Army Engineer Research and Development

Center, United States

Sund J^{*1}, Amorim MJ^{*2}, Paini A^{*1}, Tanabe S, Lee YO^{*3}, Mayasich S^{*4}, Kim YJ^{*3}, Kong J^{*5}, Josephs-Spaulding J^{*6}, Hargreaves A^{*7}, Parissis N^{*1}, Boström L^{*1}: The mechanisms leading to viral entry, viral replication and exit.

CIAO (Modelling the Pathogenesis of COVID-19 using the Adverse Outcome Pathway framework) Second AOP Design Workshop (2021.1.27)

*¹ Joint Research Centre, EU

*² Instituto Gulbenkian de Ciência - Fundação Calouste Gulbenkian, Portugal

*³ Korea Institute of Science and Technology Europe FmbH, Germany

*⁴ ORISE at U.S. Environmental Protection Agency, United States

*⁵ University of Illinois at Urbana-Champaign, United States

*⁶ Computational Microbiology & Systems Medicine, Christian-Albrechts-Universität zu Kiel

*⁷ Nottingham Trent University, United Kingdom

Nymark P^{*1}, Halappanavar S^{*2}, Gavins F^{*3}, Margiotta-Casaluci L^{*3}, Lam A^{*4}, Ohayon E^{*4}, Filipovska J^{*5}, Tsaïoun K^{*6}, Vist G^{*7}, Tanabe S, Martens M^{*8}, Mei M^{*9}, Mortensen H^{*9}, Boström L^{*10}, Movia D^{*11}, Jacobson D^{*12}, Yepiskoposyan H^{*13}, Sund J^{*10}, Willett K^{*14}: The mechanisms leading to perturbed immune responses and hyperinflammatory state.

CIAO (Modelling the Pathogenesis of COVID-19 using the Adverse Outcome Pathway framework) Second AOP Design Workshop (2021.1.27)

*¹ Institute of Environmental Medicine, Karolinska Institute, Sweden

*² Health Canada, Canada

*³ Brunel University London, United Kingdom

*⁴ Green Neuroscience Laboratory, NeuroInx Research Institute, United States

*⁵ Independent, North Macedonia

*⁶ EBTC at Johns Hopkins Bloomberg School of Public Health, United States

*⁷ Norwegian Institute of Public Health, Oslo, Norway

*⁸ Maastricht University, Netherlands

*⁹ U.S. Environmental Protection Agency, United

States

- *¹⁰ Joint Research Centre, Italy
 *¹¹ Trinity College Dublin, Ireland
 *¹² Oak Ridge National Laboratory, United States
 *¹³ Philip Morris International, Switzerland
 *¹⁴ Humane Society International, United States

田邊思帆里, Quader S^{*1}, 小野竜一, Cabral H^{*2}, 青柳一彦^{*3}, 広瀬明彦, 横崎宏^{*4}, 佐々木博己^{*3}: びまん型胃がん及び腸型胃がんにおける上皮間葉転換に関連した細胞周期チェックポイント制御及びBRCA1の役割について.

第3回医薬品毒性機序研究会 (2021.1.14-15)

- *¹ ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)
 *² 東京大学大学院工学系研究科
 *³ 国立がん研究センター研究所
 *⁴ 神戸大学大学院医学研究科

Kojima H: Establishment of the Asian Consortium for Three R's with SAAE-I.

International Webinar & 3rd National Conference of the Society for Alternatives to Animal Experiments (IWSAAE& NCSAAE-2020) (2020.12.28)

田邊思帆里, カデール サビーナ^{*1}, 小野竜一, カブラル オラシオ^{*2}, 青柳一彦^{*3}, 広瀬明彦, 横崎宏^{*4}, 佐々木博己^{*3}: 分子ネットワークマッピング解析を用いたバイオ疾患プロファイリングによる治療薬ターゲット探索.

第43回日本分子生物学会年会 (2020.12.2)

- *¹ ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)
 *² 東京大学大学院工学系研究科
 *³ 国立がん研究センター研究所
 *⁴ 神戸大学大学院医学研究科

浅野哲秀^{*1}, 笠松俊夫^{*2}, 北本幸子^{*3}, 山本美佳^{*4}, 足利太可雄, 小島肇: Bhas42細胞形質転換試験法 (Bhas42 CTA) の評価.

日本環境変異原学会第49回大会 (2020.11.27)

- *¹ 大阪信愛学院
 *² (元) 花王株式会社
 *³ 住友化学株式会社
 *⁴ アステラス製薬株式会社

鈴木政晴^{*}, 安部賀央里^{*}, 頭金正博^{*}, 山田隆志, 足利太可雄: Cosmetics Europe databaseを使用した*in silico*皮膚感作性予測回帰モデルの開発.

日本動物実験代替法学会第33回大会 (2020.11.13 Online)

* 名古屋市立大学大学院薬学研究科

三浦結美^{*1}, 足利太可雄, 板垣宏^{*1,2}, 飯島一智^{*1,3}: 表皮モデルと免疫細胞を組み合わせたタンパク質感作性評価システムの開発.

日本動物実験代替法学会第33回大会 (2020.11.12)

*¹ 横浜国立大学 大学院 理工学府

*² ITACS コンサルティング

*³ 横浜国立大学 大学院 工学研究院

西田明日香^{*1}, 足利太可雄, 大野彰子, 飯島一智^{*1,2}: 銀ナノ粒子の抗原提示細胞活性化能の解析.

日本動物実験代替法学会第33回大会 (2020.11.12)

*¹ 横浜国立大学 大学院 理工学府

*² 横浜国立大学 大学院 工学研究院

赤木隆美^{*1}, 村上将登^{*1}, 宮崎裕美^{*2}, 田口浩之^{*3}, 池田英史^{*4}, 加藤雅一^{*5}, 山田知美^{*6}, Mura S^{*7}, Couvreur P^{*7}, 足利太可雄, 小島肇, 明石満^{*1}: 三次元培養皮膚モデルLbL-3D Skinを用いた皮膚刺激性試験代替法のバリデーション研究.

日本動物実験代替法学会第33回大会 (2020.11.12)

*¹ 大阪大学大学院 生命機能研究科

*² 防衛医科大学 防衛医学研究センター

*³ 花王株式会社

*⁴ 株式会社マンダム

*⁵ 株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

*⁶ 大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部

*⁷ Institut Galien Paris-Sud

水町秀之^{*1}, 渡辺美香^{*2}, 生悦住茉友^{*2}, 梶原三智香^{*2}, 安田美智代^{*2}, 水野誠^{*3}, 今井教安^{*3}, 佐久間めぐみ^{*3}, 芝田桃子^{*3}, 渡辺真一^{*4}, 上野順子^{*4}, Basketter D^{*5}, Eskes C^{*6}, Hoffmann S^{*7}, Lehmann D^{*8}, 足利太可雄, 寒水孝司^{*9}, 武吉正博^{*10}, 宮澤正明^{*1}, 小島肇: 皮膚感作性試験代替法Epidermal Sensitization Assay (EpiSensA) のValidation 研究 (施設内再現性Phase I). 日本動物実験代替法学会第33回大会 (2020.11.12)

- *1 花王株式会社
 *2 一般財団法人食品薬品安全センター秦野研究所
 *3 株式会社コーセー
 *4 ライオン株式会社
 *5 DABMEB Consultancy Ltd.
 *6 Independent consultant
 *7 seh consulting + services
 *8 U.S. EPA
 *9 東京理科大学
 *10 一般財団法人化学物質評価研究機構

木村裕^{*1}, 安野理恵^{*2}, 渡辺美香^{*3}, 小林美和子^{*3}, 岩城知子^{*4}, 藤村千鶴^{*1}, 近江谷克裕^{*5}, 山影康次^{*3}, 中島芳浩^{*4}, 真下奈々^{*6}, 岡山昂祐^{*6}, 高木佑実^{*6}, 大森崇^{*6}, 小島肇, 相場節也^{*1}: Multi-ImmunoTox Assay (MITA): IL-1 Luc assay バリデーション試験の結果. 日本動物実験代替法学会第33回大会 (2020.11.12)

- *1 東北大学 大学院医学研究科
 *2 産業技術総合研究所 細胞分子工学研究部門
 *3 一般財団法人食品薬品安全センター 秦野研究所
 *4 産業技術総合研究所 健康医工学研究部門
 *5 産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門
 *6 神戸大学大学院医学研究科

山口宏之^{*1,2}, 押方歩^{*1}, 綿谷弘勝^{*1}, 小島肇, 竹澤俊明^{*1}: 固体を含む被検物質に使用可能なVitrigel-EIT法の改訂手順の提案. 日本動物実験代替法学会第33回大会 (2020.11.12)

- *1 農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門
 *2 関東化学株式会社 技術・開発本部

Hirose A, Hojo M^{*1}, Taquahashi Y, Kanno J, Maeno A^{*1}, Sakamoto Y^{*1}, Ohnuki A^{*1}, Ohnishi M^{*2}, Goto Y^{*2}, Nakae D^{*3}: Development of an intermittent exposure type chronic toxicity assessment method for MWCNT as an alternative to the continuous two-year inhalation protocol. 9th NANO Conference, Virtual (2020.11.12).

- *1 東京都健康安全センター
 *2 日本バイオアッセイ研究センター
 *3 東京農業大学

田邊思帆里, カデール サビーナ^{*1}, 小野竜一, カブラル オラシオ^{*2}, 青柳一彦^{*3}, 広瀬明彦, 横崎宏^{*4}, 佐々

木博己^{*3}: びまん型及び腸型胃がんにおけるRNAウイルス感染分子ネットワーク制御機構の解明. 第6回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2020.11.7)

- *1 ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)
 *2 東京大学大学院工学系研究科
 *3 国立がん研究センター研究所
 *4 神戸大学大学院医学研究科

小島肇: 医薬品の発生毒性試験にゼブラフィッシュ試験を利用する上での期待, 問題点, 課題. 第6回ゼブラフィッシュ創薬研究会 (2020.10.30)

小島肇: OECDにおけるコンピューターモデルの行政的な受け入れ. CBI学会2020年大会 (2020.10.28)

Rooney J^{*1}, Lizarraga L^{*2}, Yamada T, Allen D^{*1}, Babich M^{*3}, Daniel A^{*1}, Fitzpatrick S^{*4}, Garcia-Reyero N^{*5}, Gordon J^{*3}, Hakkinen P^{*6}, Karmaus A^{*1}, Kleinstreuer N^{*7}, Matheson J^{*3}, Mumtaz M^{*8}, Rua D^{*9}, Ruiz P^{*8}, Scarano L^{*10}, Volarath P^{*4}, Patlewicz G^{*11}: Interagency Coordinating Committee on the Validation of Alternative Methods (ICCVAM) Read Across Workgroup: Towards guiding principles for read-across applications. 9th Annual Meeting of the American Society for Cellular and Computational Toxicology (2020.10.12 Online)

- *1 ILS, RTP, NC, USA.
 *2 Center for Public Health and Environmental Assessment, U.S. Environmental Protection Agency, Cincinnati, OH, USA.
 *3 U.S. Consumer Product Safety Commission, Rockville, MD, USA.
 *4 Center for Food Safety and Applied Nutrition, U.S. Food and Drug Administration, College Park, MD, USA.
 *5 Environmental Laboratory, U.S. Army Engineer Research and Developmental Center, Vicksburg, MS, USA.
 *6 National Library of Medicine, Bethesda, MD, USA.
 *7 National Toxicology Program Interagency Center for the Evaluation of Alternative Toxicological Methods, National Institute of Environmental Health

Sciences, RTP, NC, USA.

*⁸ Agency for Toxic Substances and Disease Registry, Chamblee, GA, USA

*⁹ Center for Devices and Radiological Health, U.S. Food and Drug Administration, Silver Spring, MD, USA.

*¹⁰ Office of Pollution Prevention and Toxics, U.S. Environmental Protection Agency, Washington, DC, USA.

*¹¹ Center for Computational Toxicology & Exposure, U.S. Environmental Protection Agency, RTP, NC, USA

田邊思帆里, Quader S^{*1}, 小野竜一, Cabral H^{*2}, 青柳一彦^{*3}, 広瀬明彦, 横崎宏^{*4}, 佐々木博己^{*3}: びまん型及び腸型胃がん並びに間葉系幹細胞の分子ネットワークプロファイリング.

第79回日本癌学会学術総会 (2020.10.1-3)

*¹ ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

*² 東京大学大学院工学系研究科

*³ 国立がん研究センター研究所

*⁴ 神戸大学大学院医学研究科

Kojima H, Ishida S: Challenge of standardization in the AMED-MPS project.

10th Global Summit on Regulatory Science (GSR20). Virtual (2020.9.30)

Hirose A: Development of risk assessment support database system.

10th Global Summit on Regulatory Science (GSR20). Virtual (2020.9.30)

田邊思帆里, Quader S^{*1}, 小野竜一, Cabral H^{*2}, 青柳一彦^{*3}, 広瀬明彦, 横崎宏^{*1}, 佐々木博己^{*1}: びまん型胃がん及び腸型胃がんにおけるネットワーク解析によるWnt/beta-cateninシグナルパスウェイ関連Adverse Outcome Pathway (AOP) の開発.

第10回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2020.9.11)

*¹ ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

*² 東京大学大学院工学系研究科

*³ 国立がん研究センター研究所

*⁴ 神戸大学大学院医学研究科

Ohno A, Watanabe M^{*}, Hirose A: Application to toxicity evaluation of titanium dioxide nanoparticles based on physicochemical properties using multivariate analysis method.

260th ACS National Meeting (August 17, 2020, virtual meeting)

* Graduate School of Medicine, Mie University

Fukuhara K^{*}, Ohno A: Generation of reactive oxygen species following photoirradiation of nitromusks.

260th ACS National Meeting (August 17, 2020, virtual meeting)

* School of Pharmacy, Showa University

小島肇: ICHにおける発生毒性代替法の考え方.

第60回日本先天異常学会学術集会 (2020.7.12)

田邊思帆里, 青柳一彦^{*1}, Quader S^{*2}, Cabral H^{*3}, 小野竜一, 広瀬明彦, 横崎宏^{*4}, 佐々木博己^{*1}: OECDにおけるWnt/beta-cateninシグナルがん悪性化に関連するAdverse Outcome Pathway (AOP) の開発.

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.7.1)

*¹ 国立がん研究センター研究所

*² ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

*³ 東京大学大学院工学系研究科

*⁴ 神戸大学大学院医学研究科

大野彰子, 渡邊昌俊^{*}, 広瀬明彦: 多変量解析を用いたナノマテリアルの毒性評価手法の開発.

第47回日本毒性学会学術集会 (2020.6.30)

* 三重大学大学院医学研究科

松本真理子, 重田善之, 川村智子, 井上薫, 山田隆志, 広瀬明彦: 短期的緊急時における人の健康を守るための水道水中汚染物質濃度の提案.

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29-7.1)

磯貴子, 松本真理子, 鈴木洋, 杉山圭一, 本間正充, 広瀬明彦: 食品用器具・容器包装のポジティブリストに記載されているナノ物質も含む無機化学物の遺伝毒性評価.

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29-7.1)

吉崎芳郎, 牛田和夫, 甲斐薫, 松本真理子, 井上薫, 山田隆志, 広瀬明彦: 一般化学物質のスクリーニング評価におけるリードアクロスの適用 - 構造類似物質候補の収集・選択法の確立.

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29-7.1)

牛田和夫, 甲斐薫, 吉崎芳郎, 松本真理子, 井上薫, 山田隆志, 広瀬明彦: 一般化学物質のスクリーニング評価におけるリードアクロスの適用 - ノナン-1-オール (C9H20O) の人健康影響評価.

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29-7.1)

吉田邦嵩*, 石川晋吉*, 橋爪恒夫*, 足利太可雄: ヒト気管支上皮と抗原提示細胞の共培養系を用いた化学物質のin vitro呼吸器感作性評価法の開発.

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29-7.1)

* 日本たばこ産業株式会社 R&Dグループ

三浦稔, 栗本雅之, 川村智子, 牛田和夫, 井上薫, 山田隆志, 栗形麻樹子, 広瀬明彦: 化学物質の生殖発生毒性の新しいデータベースの開発とその特徴解析.

第47回日本毒性学会学術大会 (2020.6.29 Online)

吉田喜久雄, 明関由里子, 松本さおり, 石田誠一, 山田隆志: 環境化学物質の生理学的薬物動力学 (PBPK) モデリングで使用されるパラメータの構造特異的な特性の評価.

第47回日本毒性学会学術大会 (2020.6.29 Online)

鈴木政晴*, 安部賀央里*, 頭金正博*, 山田隆志, 足利太可雄: IATA (統合的) アプローチに基づいた皮膚感作性におけるin silico予測モデルの開発.

第47回日本毒性学会学術大会 (2020.6.29 Online)

* 名古屋市立大学大学院薬学研究科

前野愛^{*1}, 北條幹^{*1}, 坂本義光^{*1}, 生嶋清美^{*1}, 山本行男^{*1}, 湯澤勝廣^{*1}, 長谷川悠子^{*1}, 長澤明道^{*1}, 久保喜一^{*1}, 安藤弘^{*1}, 田中和良^{*1}, 鈴木仁^{*1}, 猪又明子^{*1}, 守安貴子^{*1}, 高橋祐次, 横田理, 小林憲弘, 広瀬明

彦, 中江大^{*2}: ラットによる多層カーボンナノチューブ (MWCNT) の長期気管内反復投与試験: 1年経過時点における報告.

第47回日本毒性学会学術大会 (2020.6.29 Online)

^{*1} 東京都健康安全研究センター

^{*2} 東京農業大学

小島肇: 安全性評価におけるReplacementの概要.

第47回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29)

Tanabe S, Quader S^{*1}, Ono R, Cabral H^{*2}, Aoyagi K^{*3}, Hirose A, Yokozaki H^{*4}, Sasaki H^{*3}: CANCER STEM CELL AND EPITHELIAL-MESENCHYMAL TRANSITION-RELATED MOLECULAR NETWORK PROFILING IN MESENCHYMAL STEM CELLS AND GASTRIC CANCER.

ISSCR (International Society for Stem Cell Research) 2020 Annual Meeting, Virtual (2020.6.26)

^{*1} Innovation Centre of NanoMedicine (iCONM)

^{*2} University of Tokyo

^{*3} National Cancer Center Research Institute

^{*4} Kobe University of Graduate School of Medicine

足利太可雄, 鈴木政晴*, 安部賀央里*, 栗本雅之, 山田隆志, 頭金正博^{*1}: 非動物実験による皮膚感作性のリスク評価と毒性学的懸念の閾値コンセプトの開発.

第45回日本化粧品学会 (2020.6.12-13)

* 名古屋市立大学大学院薬学研究科

Hirose A, Kobayashi N, Kurimoto M, Yamamoto H*, Ikarashi Y, Yamada T: Development of initial environmental risk assessment methods for pharmaceuticals by using Eco-QSAR system. SETAC Europe 30th Annual Meeting, Virtual (2020.5.6)

* 国立環境研究所